

秋田県地区別人口分析の概要と 今後のコミュニティ生活圏形成への期待

一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所
所長 藤山 浩

2周目が見えない国土と暮らし

1. 全国的な田園回帰
2. 秋田県の地区別人口分析
～概要と傾向
3. 1%の所得を取り戻す
4. 合わせ技の拠点と組織
5. 今後の「コミュニティ生活圏」

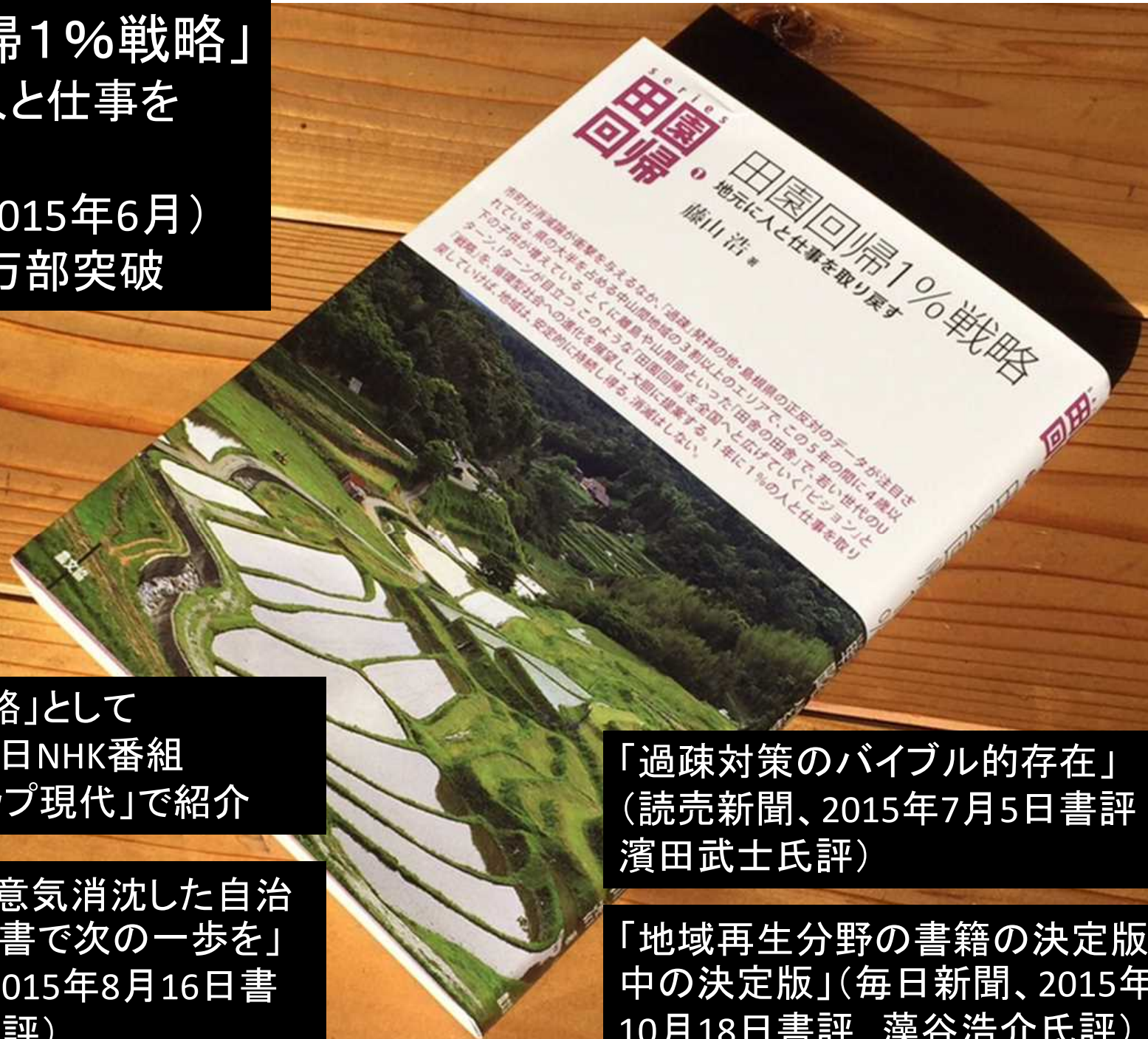
「困っているから、定住してくれ」
ではありません。

地元の持続可能な底力＝「21世紀の石高」と魅力をみんなで確かめ、自信を持って、

秋田県のそれぞれの地元から
「ここで一緒に暮らそう！」と呼び
かけてください！



「田園回帰1%戦略」
～地元にと仕事を取り戻す～
(農文協、2015年6月)
全国で1万部突破



「移住1%戦略」として
2015年12月9日NHK番組
「クローズアップ現代」で紹介

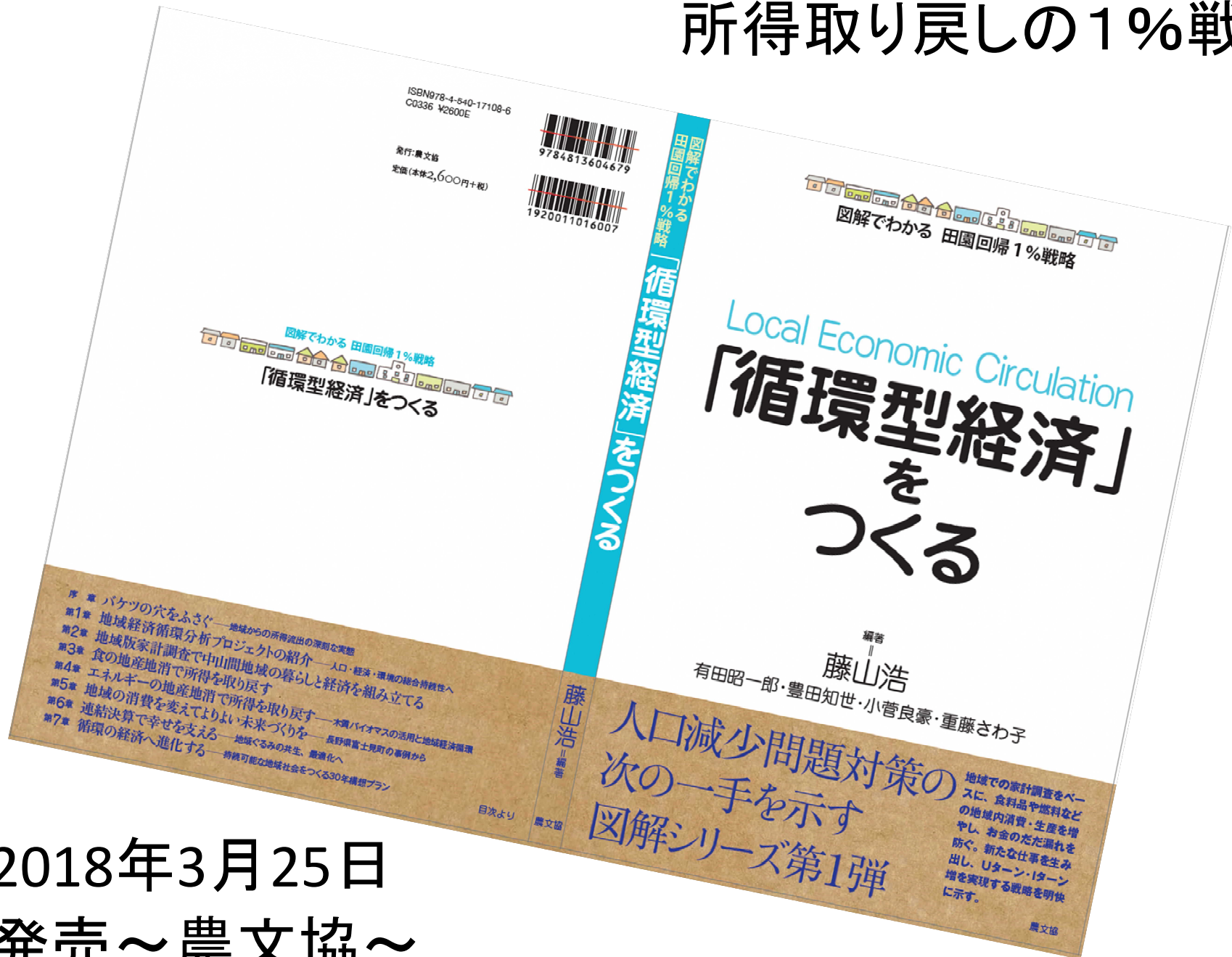
「『消滅論』で意気消沈した自治
体にぜひ、本書で次の一步を」
(朝日新聞、2015年8月16日書
評諸富 徹氏評)

「過疎対策のバイブル的存在」
(読売新聞、2015年7月5日書評
濱田武士氏評)

「地域再生分野の書籍の決定版
中の決定版」(毎日新聞、2015年
10月18日書評 藻谷浩介氏評) 2

所得取り戻しの1%戦略

長続きする地元経済の創り方



2018年3月25日
発売～農文協～

人口対策・定住促進の決定版

ISBN978-4-540-17107-9
C0336 ¥2600E



9784540171079

発行：農文協
定価（本体2,600円＋税）



1920336026002



図解でわかる 田園回帰1%戦略

Local Population Vision 「地域人口ビジョン」 をつくる

編著

藤山 浩

森山慶久＝共同分析 甲斐かおり＝現地ルポ

- 序 章 「消滅可能性」から「持続可能性」へ——「緑辺革命」としての田園回帰
- 第1章 地域人口分析の手法解説——進化した「地域人口分析・予測シミュレーションシステム」
- 第2章 2010年代前半における全市町村の人口分析
- 第3章 全市町村の人口将来予測
- 第4章 地域介護分析の手法——地域別「お達者度」をもとに介護費用を分析する
- 第5章 田園回帰の最前線を訪ねて——緑辺の町や村で何が起きているか
- 第6章 地域人口ビジョンの取り組み——定住推進ワークショップと地区別戦略の実例
- 第7章 今後の地域人口ビジョンづくりに向けて——地域診断・全国比較・持続可能性

目次より

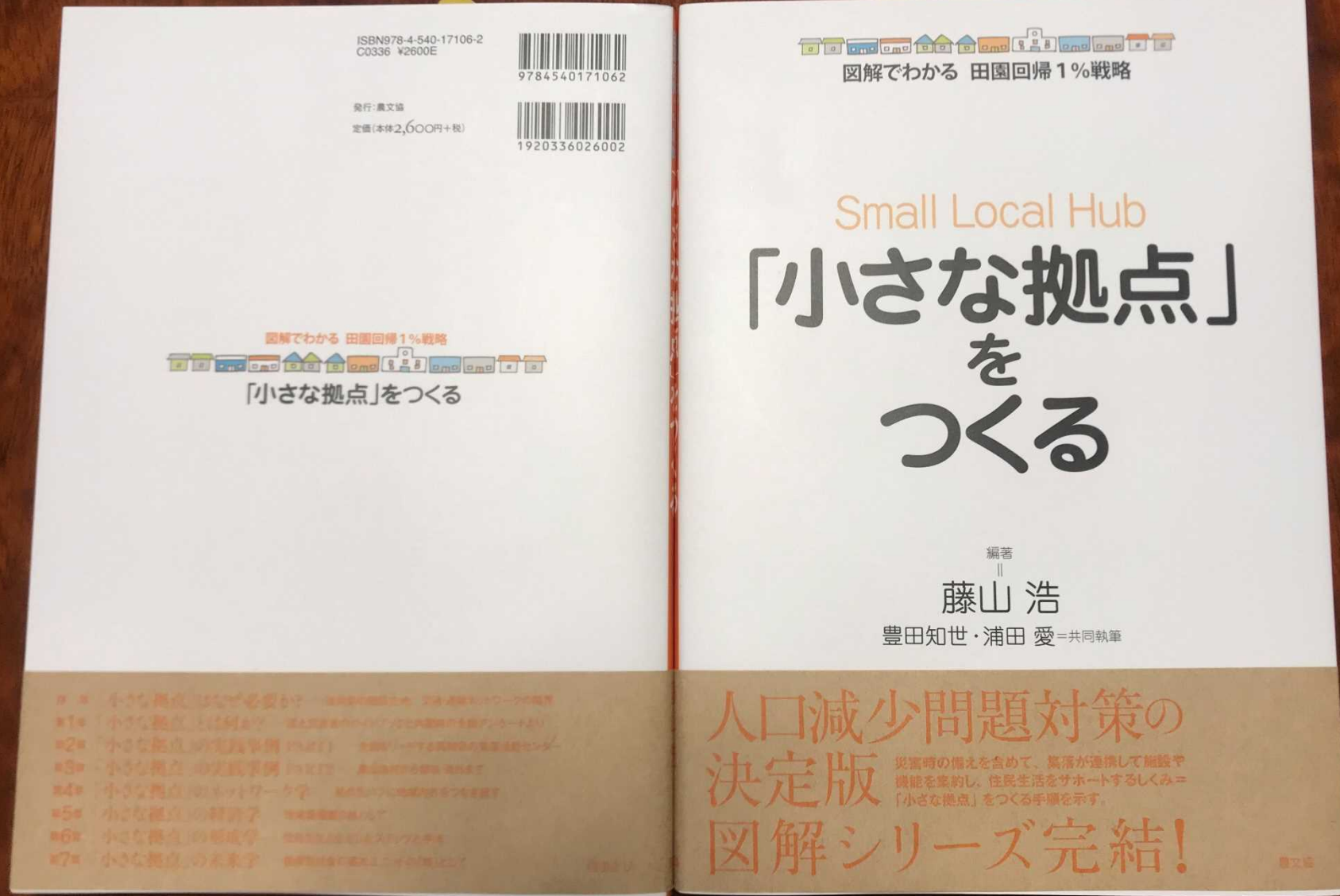
人口減少問題対策の
決定版
図解シリーズ第2弾

2015年国勢調査に基づく全市町村の人口将来予測から、市町村や地区での人口や介護の現状把握・戦略づくりまで、実例をもとに示す。

農文協

2018年12月5日発売～農文協～

全国で展開中の「小さな拠点」の初の本格解説本！



秋田県の「お互いさまスーパー」も紹介

2019年12月21日発売～農文協

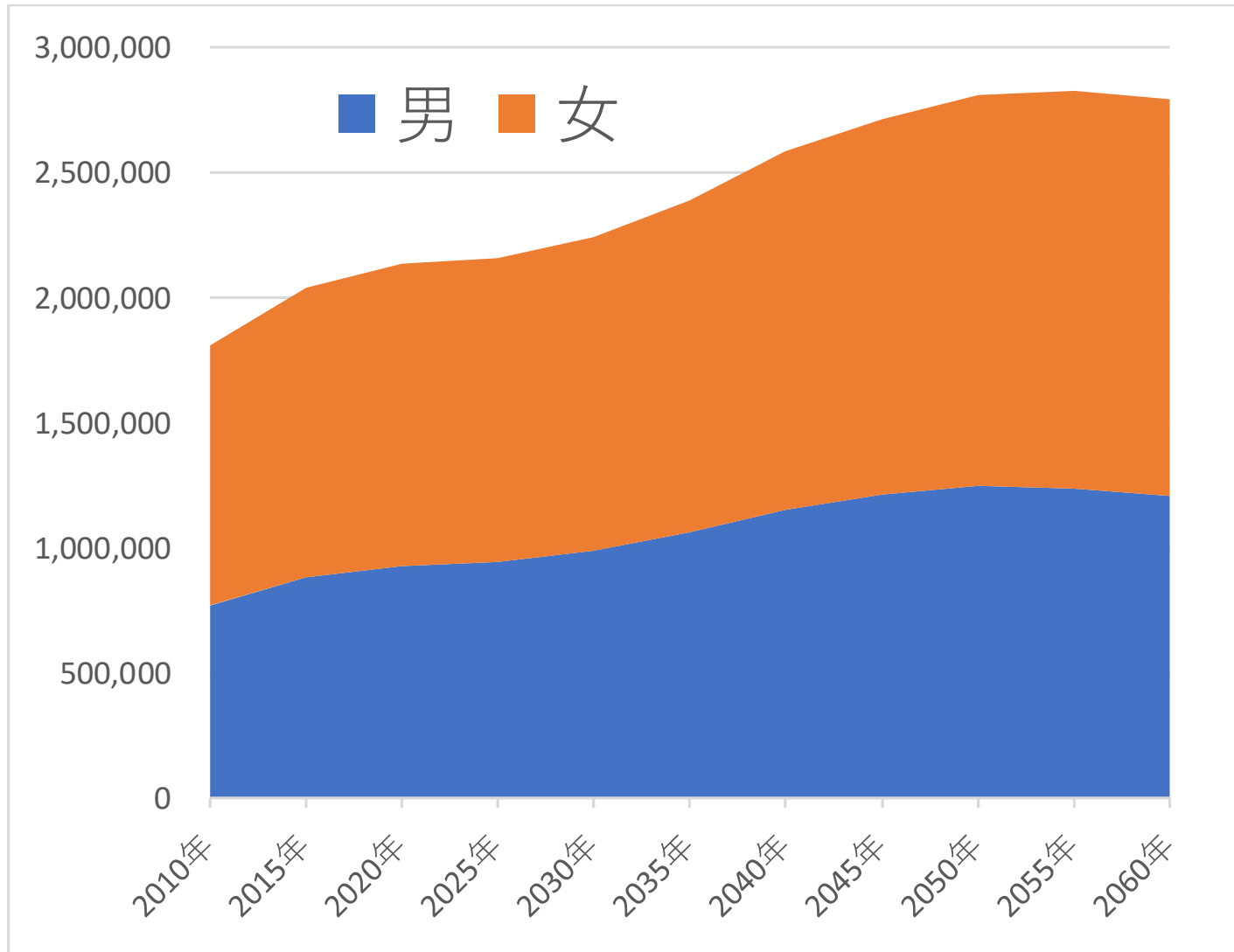


果てしなく広がる都市圏。毎日の長時間通勤。そびえ立つビルやタワーマンション。

そこで、日々暮らす人々の思いは、周りや次世代の人々に伝わっていくのだろうか？



東京23区における高齢者数の予測



長い目で見て、
一番持続性がない
地域社会は東京。

2050年の高齢者は281万人＝1平方キロ当たり、4,507人
100m四方に45人→介護や医療だけでなく、生活も限界

「2周目」が見えない「規模の経済」～「1周目」で全面的な限界に直面

＜中山間地域＞

＜都市＞

＜海外＞

昭和ひとけた
世代

エネルギー革命
農林業衰退

安価な食糧・
石油・資源

1960
年代

すでに
25～35歳
で残存

人口の都市流出

臨海工業地帯の発達

木材輸入
自由化
1964年

「過疎」

団塊世代

「過密」←人口の都市集中

1970
年代

主力世代

過疎法1970年

資材
需要

郊外団地

消費型ライフ
スタイル
(3C=車、
クーラー、
カラーテレビ)

大量消費
(石油)文明の
発達

現在

高齢化

過疎対策
(社会資本整備)

30歳で入居

東日本
大震災

地球温暖化
等の深刻化

中国等の
経済成長

アジア、
アフリカ
都市集中

引退局面 → 「限界集落」

不在地主

60歳定年

高齢化

「団地の限界」

「国土の限界」

「地球環境の
限界」

時代の要請: 中山間地域、都市、
国土、地球の「限界」の複合解決

田園回帰+地元の創り直し

2010
年代

2020
年代

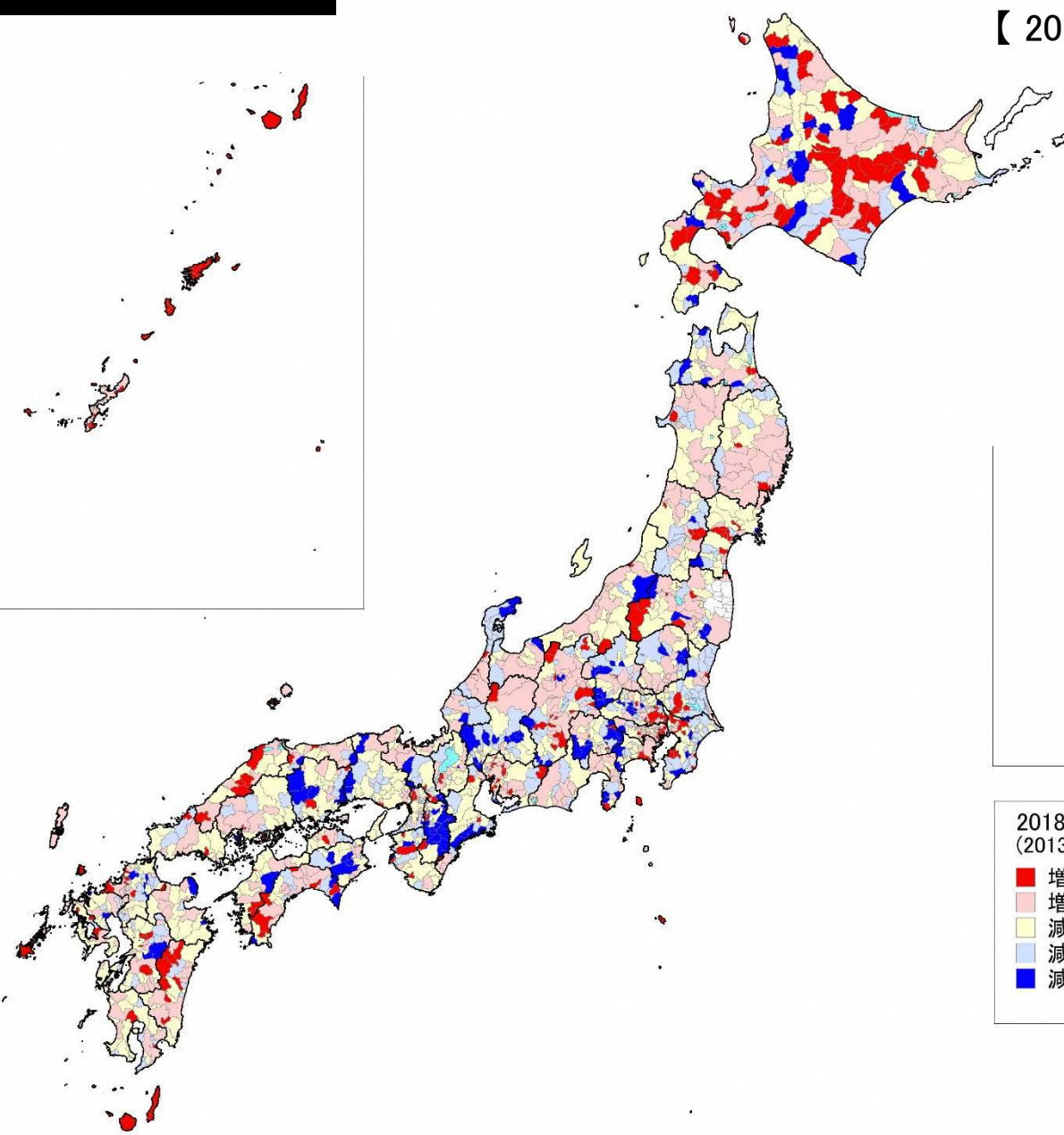
- ひと・自然・伝統・他地域との
つながり・循環再生
- 定住自治区の設定

●欧米での田園回帰

1. 全国的な田園回帰

30代女性コ－ホ－ト変化率

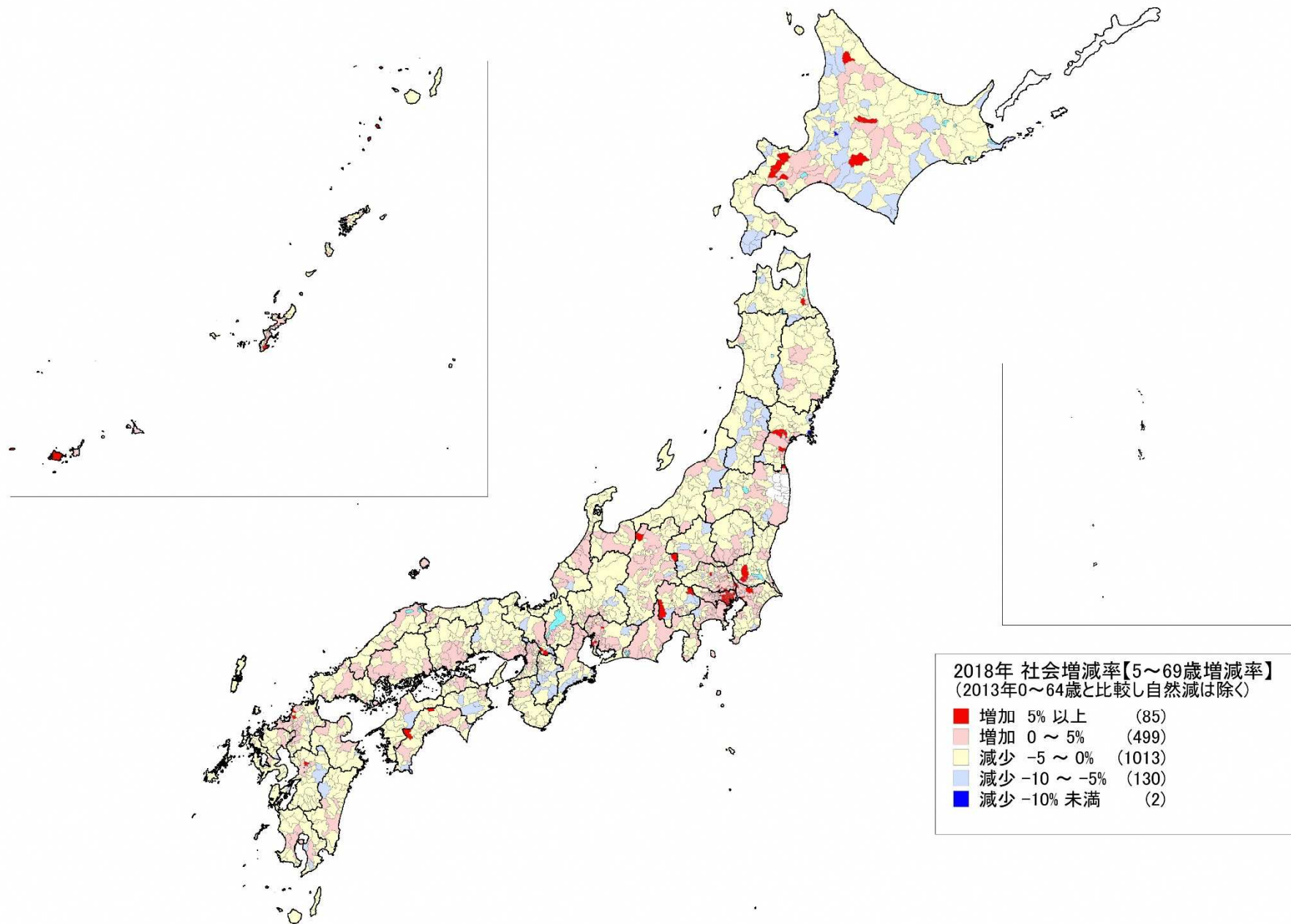
【2013年3月～2018年1月】



2018年 30～39歳女性増減率
(2013年25～34歳女性と比較)

■ 増加 5% 以上	(291)
■ 増加 0 ～ 5% 以上	(455)
■ 減少 -5 ～ 0%	(509)
■ 減少 -10 ～ -5%	(316)
■ 減少 -10% 未満	(158)

実質社会増減率 【2013年3月～2018年1月】



30代女性コーホート変化率

過疎自治体 トップ30

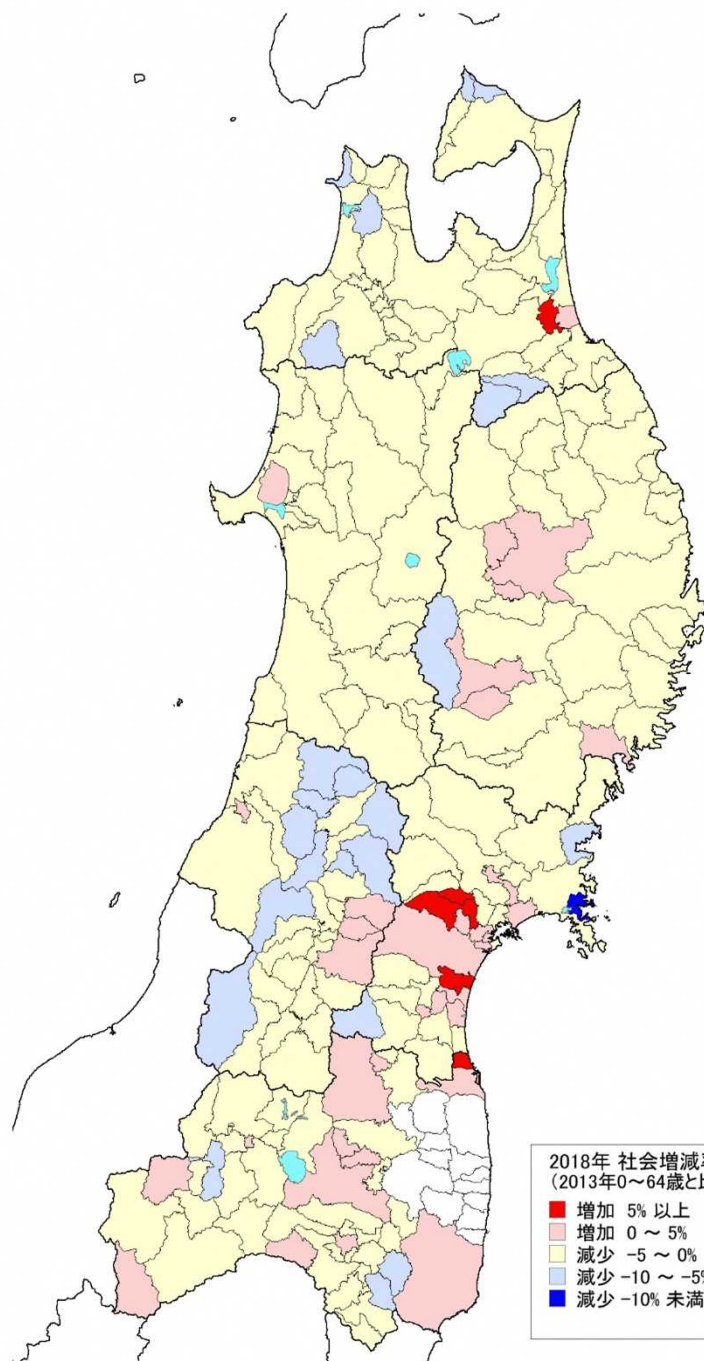
順位	都道府県	市町村名	増減率
1	鹿児島県	三島村	478.0%
2	鹿児島県	十島村	144.4%
3	沖縄県	渡名喜村	142.9%
4	島根県	知夫村	118.2%
5	北海道	赤井川村	59.5%
6	長野県	大鹿村	58.4%
7	東京都	青ヶ島村	55.6%
7	和歌山県	北山村	55.6%
9	北海道	ニセコ町	45.8%
10	沖縄県	南大東村	44.4%
11	沖縄県	座間味村	43.9%
12	島根県	海士町	43.8%
13	宮崎県	西米良村	37.5%
14	沖縄県	与那国町	36.6%
15	鹿児島県	与論町	33.9%
16	北海道	音威子府村	33.7%
17	長野県	野沢温泉村	31.8%
18	岐阜県	白川村	30.4%
19	長野県	北相木村	30.2%
20	沖縄県	東村	30.1%
21	沖縄県	竹富町	26.7%
22	高知県	大川村	23.1%
23	沖縄県	伊是名村	22.0%
24	北海道	真狩村	21.7%
25	北海道	厚真町	21.4%
26	島根県	西ノ島町	21.2%
27	愛知県	豊根村	21.1%
28	北海道	中頓別町	21.1%
29	沖縄県	伊江村	19.1%
30	愛媛県	鬼北町	18.8%

実質社会増減率

過疎自治体 トップ30

順位	都道府県	市町村名	増減率
1	鹿児島県	三島村	41.1%
2	北海道	占冠村	31.4%
3	新潟県	粟島浦村	28.7%
4	鹿児島県	十島村	27.9%
5	島根県	知夫村	25.6%
6	北海道	赤井川村	17.9%
7	沖縄県	与那国町	15.9%
8	北海道	留寿都村	14.3%
9	北海道	ニセコ町	13.1%
10	山梨県	小菅村	9.3%
11	島根県	海士町	9.0%
12	沖縄県	竹富町	8.8%
13	山梨県	早川町	7.8%
14	高知県	大川村	7.6%
15	山梨県	丹波山村	6.9%
16	高知県	橋原町	5.8%
17	沖縄県	座間味村	5.2%
18	北海道	音威子府村	5.1%
19	広島県	大崎上島町	5.0%
20	宮崎県	西米良村	4.7%
21	北海道	鶴居村	4.4%
22	鹿児島県	始良市	4.4%
23	北海道	上士幌町	3.7%
24	北海道	厚真町	3.7%
25	東京都	青ヶ島村	3.6%
26	愛媛県	上島町	3.6%
27	岡山県	新庄村	3.4%
28	長野県	野沢温泉村	3.4%
29	和歌山県	北山村	3.3%
30	岡山県	西粟倉村	3.3%

社会増減率 (2013年の5～69歳と2018年の0～64歳を比較、自然減分を補正)



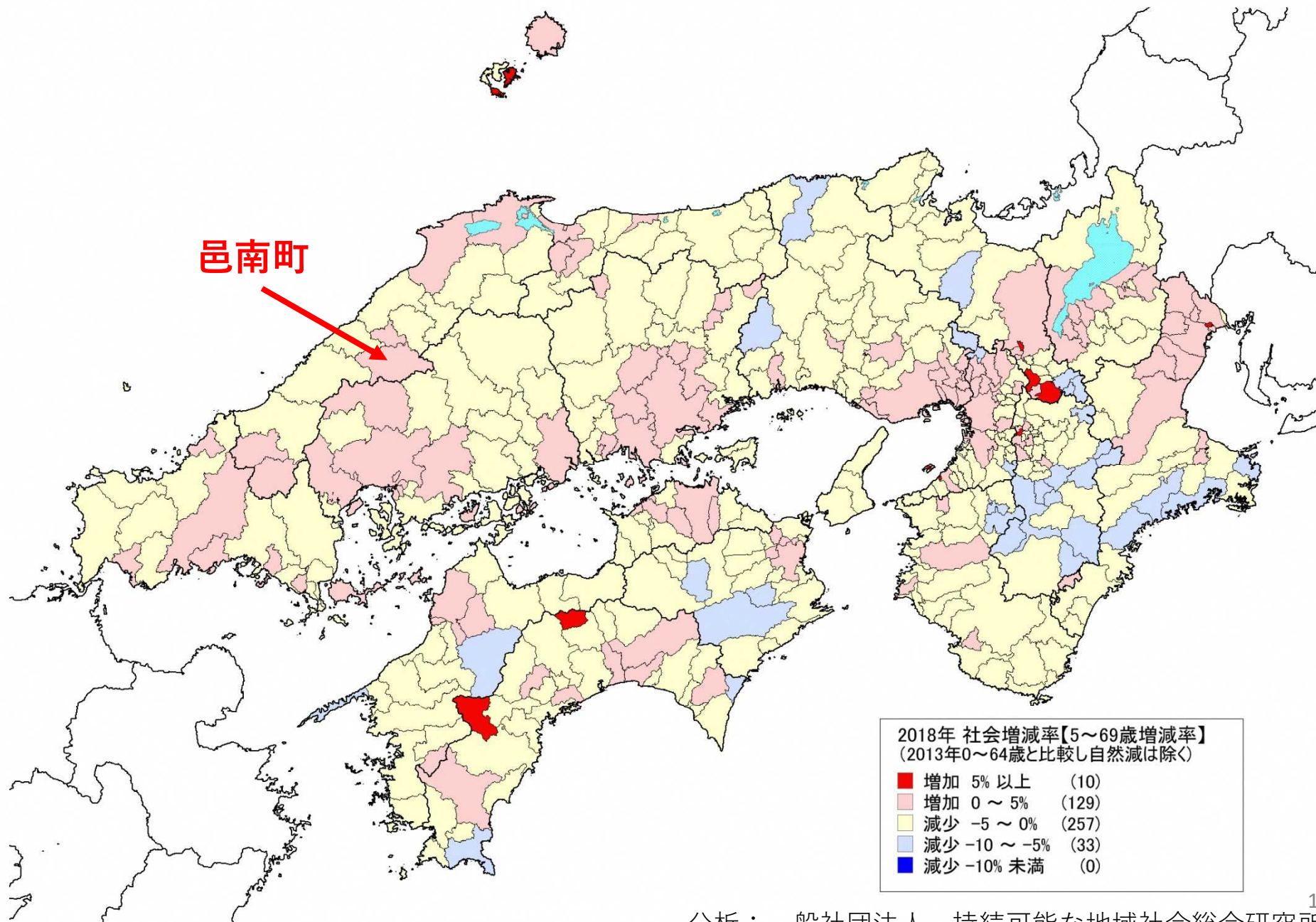
順位	都道府県	市町村名	増減率
1	宮城県	大和町	8.4%
2	宮城県	名取市	7.3%
3	青森県	六戸町	7.0%
4	宮城県	大衡村	5.7%
5	福島県	新地町	5.1%
6	福島県	大玉村	4.2%
7	岩手県	矢巾町	3.6%
8	宮城県	富谷市	3.5%
9	宮城県	亘理町	2.6%
10	宮城県	仙台市	2.5%
11	福島県	金山町	2.4%
12	山形県	東根市	2.4%
13	宮城県	岩沼市	2.3%
14	山形県	三川町	2.2%
15	青森県	おいらせ町	2.1%
16	福島県	湯川村	2.0%
17	宮城県	美里町	1.8%
18	福島県	郡山市	1.7%
19	宮城県	東松島市	1.4%
20	福島県	福島市	1.4%

2018年 社会増減率【5～69歳増減率】
(2013年0～64歳と比較し自然減は除く)

■ 増加 5% 以上 (5)
■ 増加 0 ～ 5% (35)
■ 減少 -5 ～ 0% (152)
■ 減少 -10 ～ -5% (22)
■ 減少 -10% 未満 (1)

実質社会増減率 (2013~2018年)

邑南町



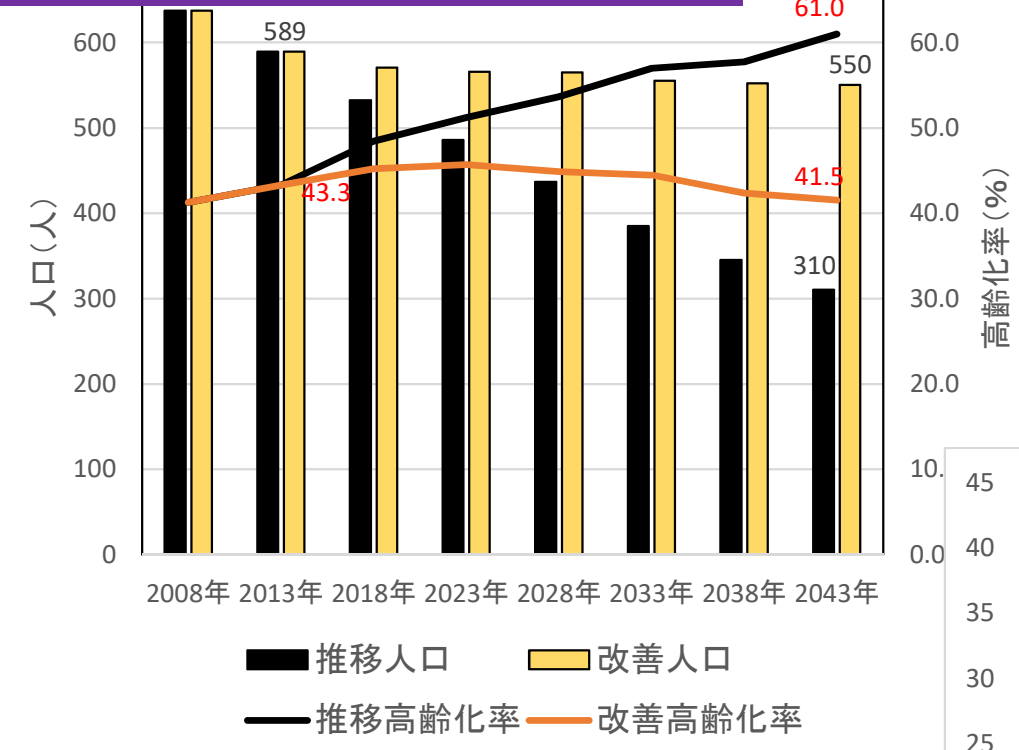
2020年1月12日 「みんなで作る中国山地」 発刊記念シンポジウム

過疎は終わった！



改めて「田園回帰1%戦略」とは？～小地域における適応事例

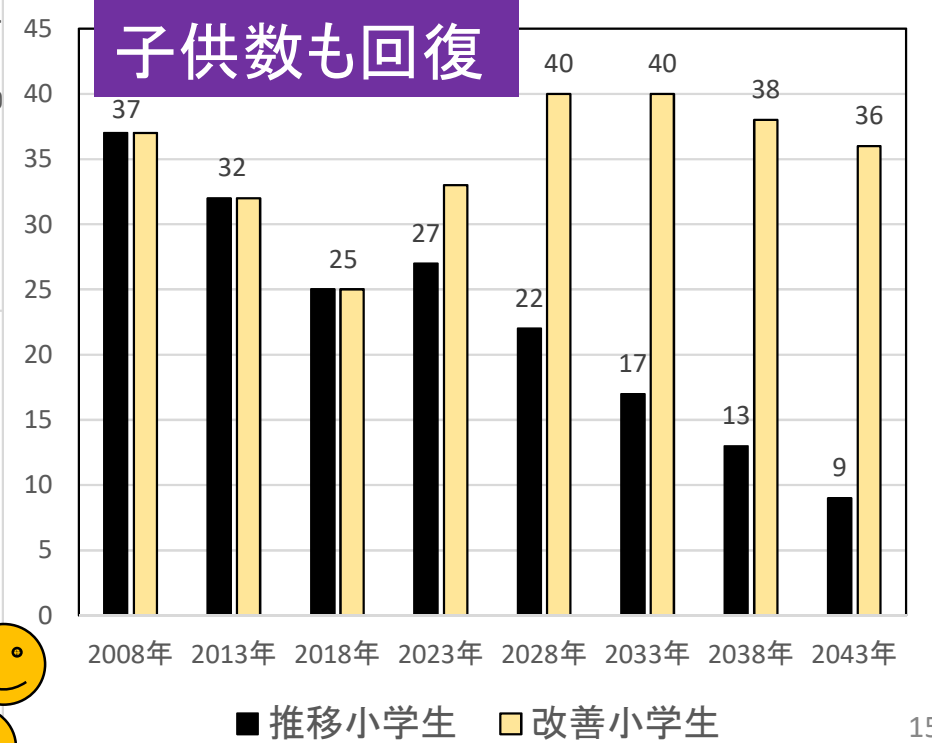
人口減も高齢化もストップ



小地域や市町村の人口予測（現状推移）と人口安定・高齢化ストップ・少子化防止のシナリオを同時に算出可能

* 定住増に加えて、出産増や若者流出の効果も算出可能

子供数も回復



定住目標: 589人・高齢化率43%
の小学校区に、毎年以下の3組7
人の定住が増加＝**人口の1%強**
20代前半男女1組(2名) 😊😊
30代子連れ夫婦1組(3名) 😊😊😊
60代定年帰郷夫婦1組(2名) 😊😊

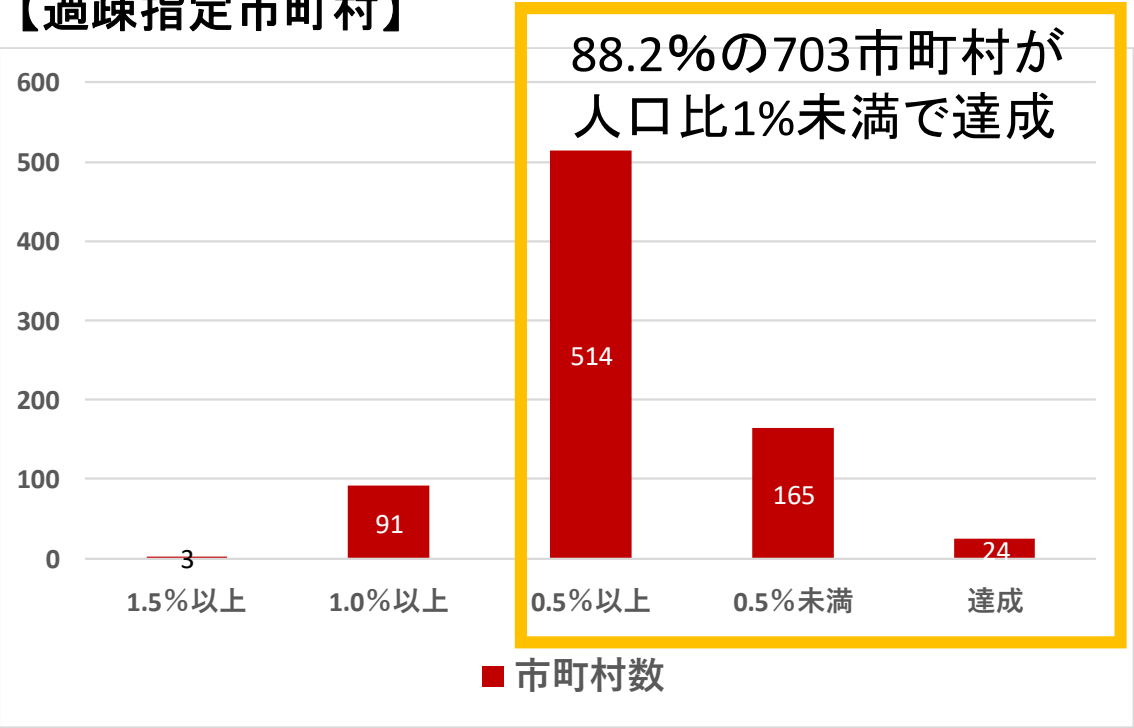
子ども人口安定化達成および
上位市町村【過疎指定市町村】

* 日本創成会議による2010～2040年20～39歳女性減少率予測(網掛けの減少率50%以上は「消滅可能性市町村」)

市町村名の
青網掛けは離島。
下線は非合併

順位	県名	市町村名	必要人口(%)	女性減少率
1	北海道	占冠村	0.0%	-36.4%
1	北海道	初山別村	0.0%	-65.3%
1	北海道	猿払村	0.0%	-41.7%
1	北海道	西興部村	0.0%	-55.9%
1	北海道	豊浦町	0.0%	-52.0%
1	北海道	鹿追町	0.0%	-52.8%
1	福島県	檜枝岐村	0.0%	データ無
1	群馬県	上野村	0.0%	-60.7%
1	新潟県	粟島浦村	0.0%	-83.2%
1	長野県	北相木村	0.0%	-65.4%
1	長野県	生坂村	0.0%	-59.9%
1	和歌山県	北山村	0.0%	-53.8%
1	島根県	海士町	0.0%	-64.3%
1	島根県	知夫村	0.0%	-51.8%
1	高知県	北川村	0.0%	-50.8%
1	高知県	三原村	0.0%	-62.8%
1	宮崎県	木城町	0.0%	-44.3%
1	宮崎県	諸塚村	0.0%	-60.2%
1	鹿児島県	三島村	0.0%	-55.8%
1	鹿児島県	十島村	0.0%	-59.8%
1	沖縄県	座間味村	0.0%	-58.6%
1	沖縄県	伊是名村	0.0%	-57.8%
1	沖縄県	多良間村	0.0%	-51.4%
1	沖縄県	竹富町	0.0%	-73.2%
25	広島県	東広島市	0.0%	-27.8%
26	岡山県	岡山市	0.0%	-26.1%
27	広島県	福山市	0.1%	-37.8%
28	鹿児島県	与論町	0.1%	-72.9%
29	岡山県	西栗倉村	0.1%	-50.2%
30	岡山県	奈義町	0.1%	-55.3%

子ども人口安定化に必要な定住増加人数の人口比
【過疎指定市町村】



* 30年後の2045年において、2015年比の9割以上の子ども人口を保持することを条件に、20代前半男女、30代前半子連れ夫婦、60代前半夫婦を毎年同じ組数ほど定住増加させると想定して算出

全域過疎指定の616市町村合計では
毎年**57,054人**の定住増加で達成可能
(人口比**0.73%**分)

* 東京圏は11万7868人の転入超過(2016年)

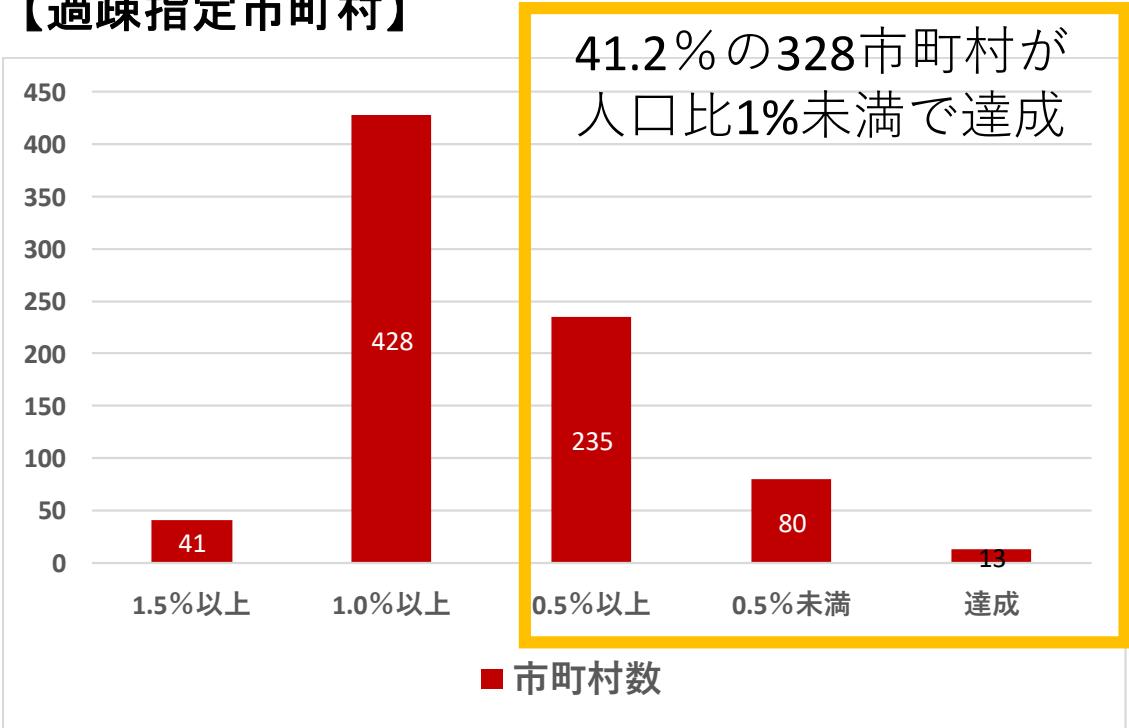
総合的人口安定化達成および
上位市町村【過疎指定市町村】

* 日本創成会議による2010～2040年20～39歳女性減少率予測(網掛けの減少率50%以上は「消滅可能性市町村」)

市町村名の
青網掛けは離島。
下線は非合併

順位	県名	市町村名	必要人口(%)	女性減少率
1	北海道	猿払村	0.0%	-41.7%
1	福島県	檜枝岐村	0.0%	データ無
1	群馬県	上野村	0.0%	-60.7%
1	新潟県	粟島浦村	0.0%	-83.2%
1	和歌山県	北山村	0.0%	-53.8%
1	島根県	海士町	0.0%	-64.3%
1	島根県	知夫村	0.0%	51.8%
1	鹿児島県	三島村	0.0%	-55.8%
1	鹿児島県	十島村	0.0%	-59.8%
1	沖縄県	座間味村	0.0%	-58.6%
1	沖縄県	伊是名村	0.0%	-57.8%
1	沖縄県	多良間村	0.0%	-51.4%
1	沖縄県	竹富町	0.0%	-73.2%
14	広島県	東広島市	0.0%	-27.8%
15	宮崎県	木城町	0.0%	-44.3%
16	岡山県	岡山市	0.0%	-26.1%
17	広島県	福山市	0.1%	-37.8%
18	北海道	西興部村	0.1%	-55.9%
19	島根県	西ノ島町	0.1%	-74.3%
20	佐賀県	江北町	0.1%	-35.1%
21	島根県	出雲市	0.1%	-34.7%
22	大分県	中津市	0.1%	-35.9%
23	広島県	廿日市市	0.1%	-52.0%
24	福岡県	宗像市	0.2%	-35.8%
25	北海道	幕別町	0.2%	-32.4%
26	北海道	鹿追町	0.2%	-52.8%
27	鹿児島県	姶良市	0.2%	-33.1%
28	佐賀県	佐賀市	0.2%	-41.0%
29	京都府	福知山市	0.2%	-44.2%
30	和歌山県	有田川町	0.2%	-52.4%

総合的人口安定化に必要な定住増加人数の人口比
【過疎指定市町村】



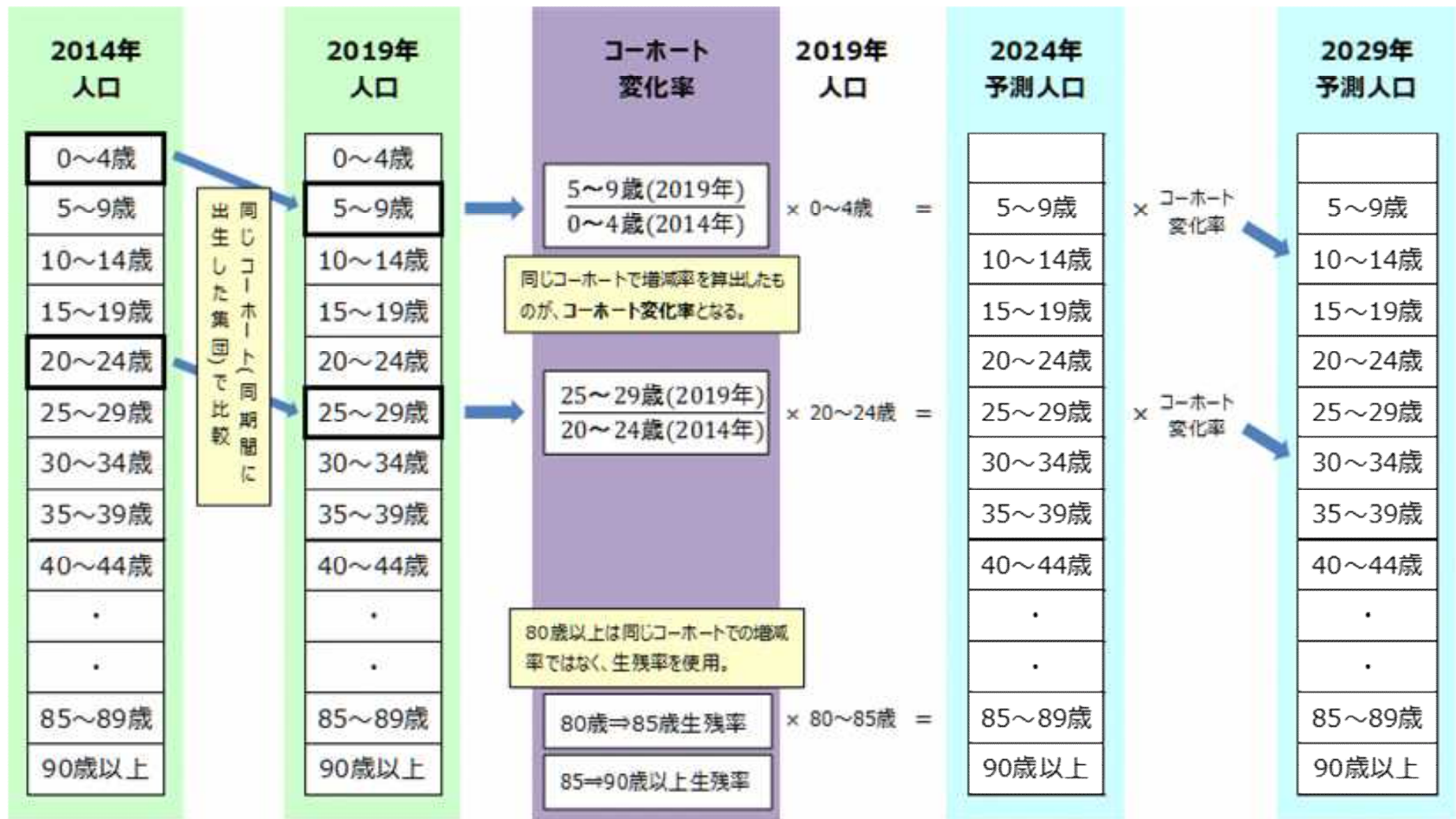
* 30年後の2045年において、2015年比で、総人口・子ども人口・高齢化率を安定させることを条件に、20代前半男女、30代前半子連れ夫婦、60代前半夫婦を毎年同じ組数ほど定住増加させると想定して算出

全域過疎指定の616市町村合計では
毎年89,298人の定住増加で達成可能
(人口比1.15%分)

* 東京圏は11万7868人の転入超過 (2016年)

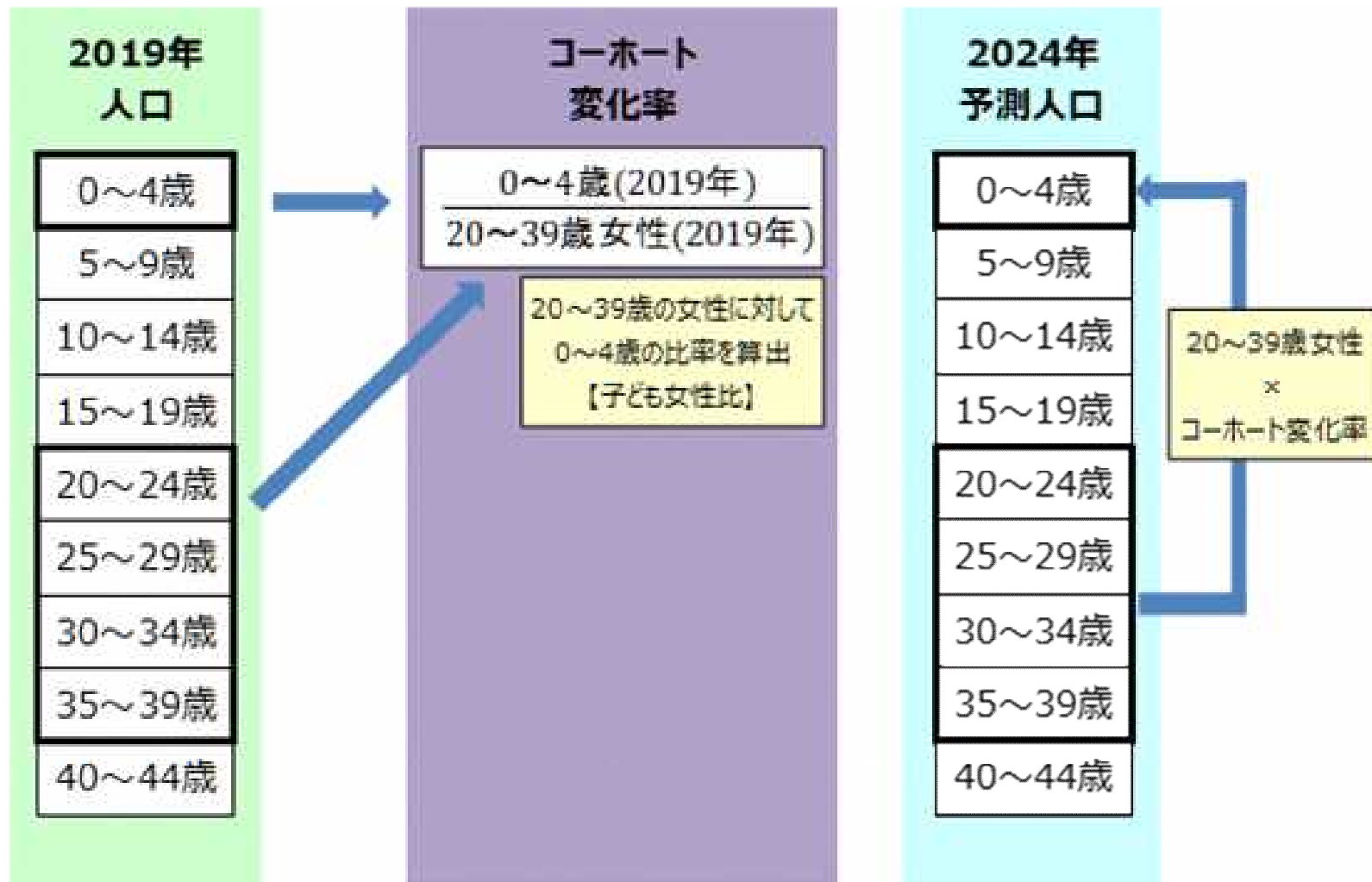
コーホート変化率法による人口推計フロー（5歳以上）

「コーホート」とは同期間（通常5年間）で生まれた年齢階層集団のこと



* 5年前と現在の男女5歳刻み人口さえあれば、計算可能
小さな地域単位でも可能。毎年実施できる。

コーホート変化率法による人口推計フロー（0～4歳）



基本的な考え方は、要因法と同じ

0～4歳人口は5年前では生まれていないため、コーホート変化率が出せない。よって、2019年の【子ども女性比】が今後も続くと仮定して0～4歳人口を算出する。

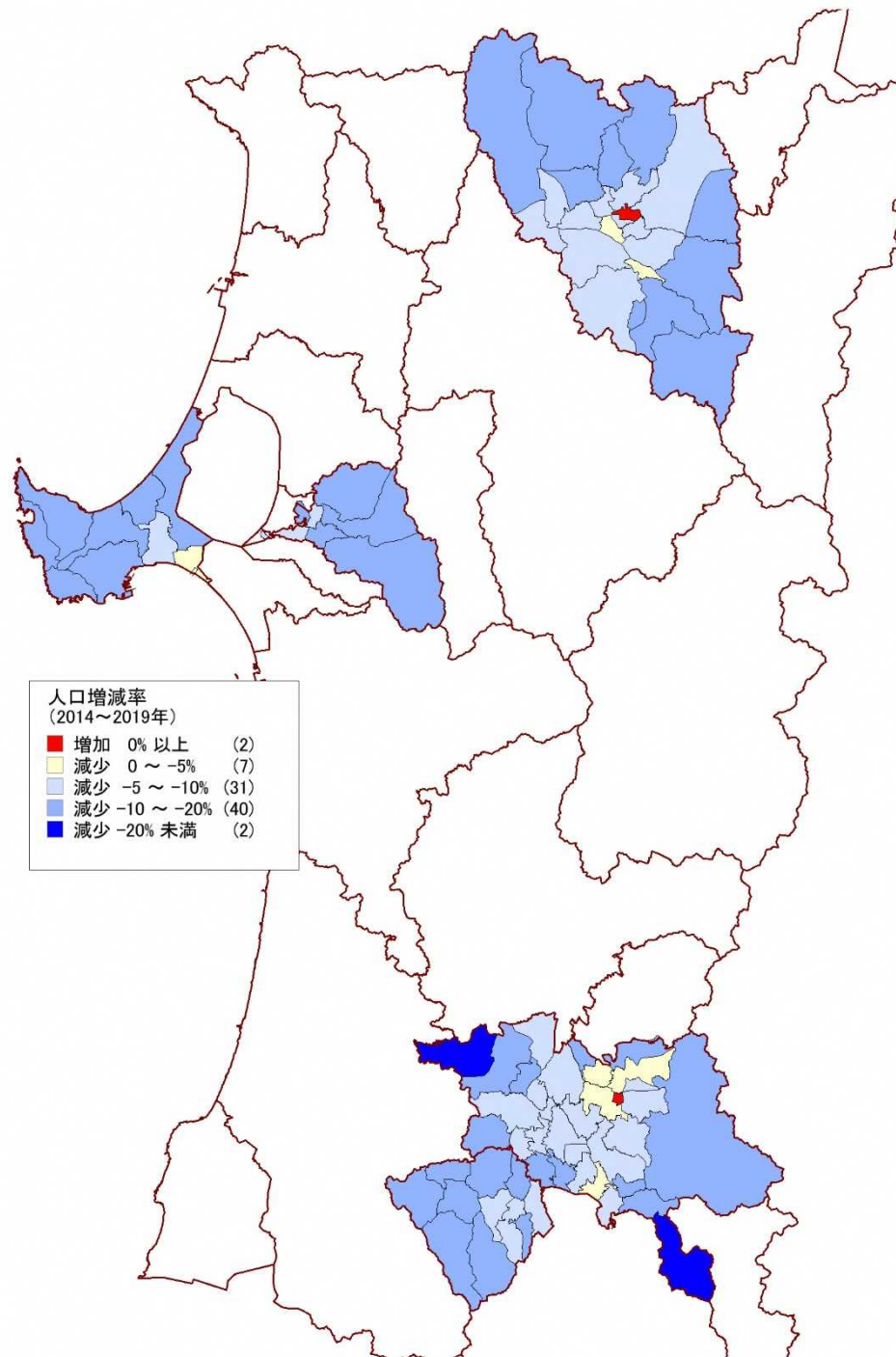
0-4歳性比は、全国的な平均値、男105：女100を通常使用する。

2. 秋田県の地区別人口分析の概要と傾向

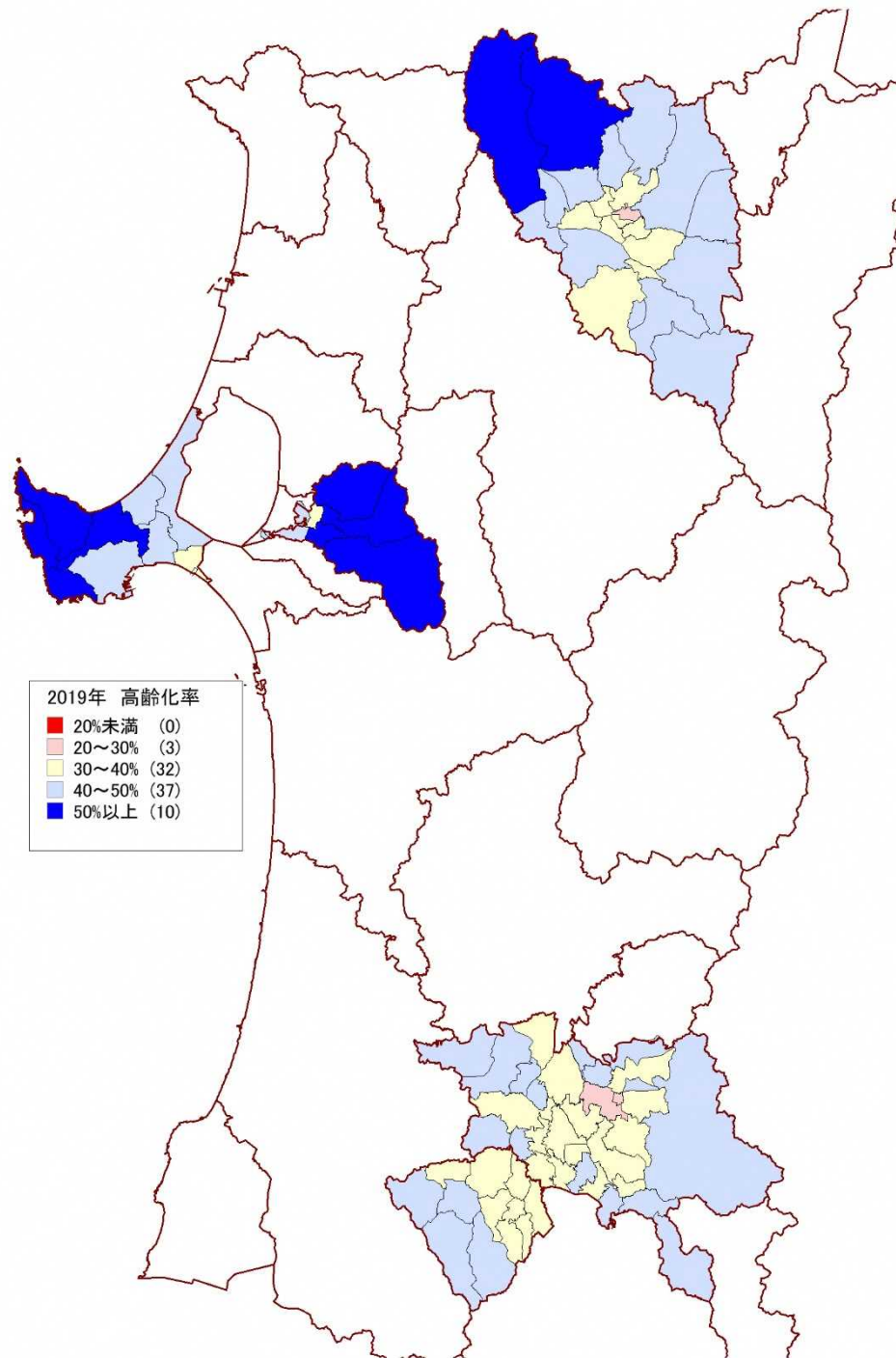
2014～2019 5市町・82地区別コホート変化率一覧

地域名	特記 FLG	性別	0～4 歳	5～9 歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 74歳
横手南	0	男	0.86	0.91	0.93	0.88	0.84	0.82	0.94	1.02	0.95	0.95	1.04	0.93	0.93	0.88	0.91
		女	0.70	0.97	0.93	0.93	0.74	0.83	1.02	0.98	0.91	1.03	0.99	0.98	0.95	0.99	0.97
横手北	0	男	0.94	1.41	1.29	0.93	0.83	0.76	0.84	1.15	0.99	1.03	1.05	0.99	0.99	0.97	0.85
		女	0.95	1.05	1.13	1.00	0.55	0.92	1.09	1.20	1.02	0.94	1.03	0.98	1.00	0.92	0.92
横手西	0	男	0.95	0.80	1.12	1.01	1.03	1.53	1.12	1.15	1.07	0.97	1.08	1.01	1.00	0.97	0.88
		女	1.23	0.86	1.10	1.02	0.93	1.16	1.14	1.03	1.12	1.07	0.98	1.03	1.03	0.97	0.97
朝倉	0	男	1.04	1.08	1.01	0.90	0.86	1.00	1.17	1.00	1.01	0.98	1.01	0.99	0.98	0.95	0.95
		女	0.91	1.02	0.98	0.91	0.81	0.74	0.98	1.13	1.04	0.93	1.01	0.98	0.95	1.00	0.96
栄	0	男	0.89	0.93	1.10	0.98	0.78	1.32	0.85	0.98	0.97	0.96	0.99	1.02	0.97	0.97	0.93
		女	0.69	1.03	0.93	1.05	0.87	1.21	1.01	1.10	0.91	0.93	0.97	0.98	1.01	0.96	0.94
旭	0	男	0.68	0.96	0.97	0.88	0.71	1.05	1.05	1.06	1.04	0.97	0.97	0.97	0.97	0.95	0.97
		女	0.86	1.01	1.03	0.95	0.80	0.92	1.06	1.09	1.00	1.01	0.96	1.00	1.00	0.99	0.94
境町	0	男	0.73	1.15	1.25	0.94	0.92	0.75	1.04	1.11	1.06	1.05	0.90	1.00	1.04	0.98	0.89
		女	1.37	1.63	1.10	0.96	0.55	0.95	0.96	1.17	1.33	0.95	1.00	1.00	1.01	0.99	1.02
くさかわ	45	男	0.74	1.05	0.95	0.94	0.61	0.83	0.90	0.92	0.83	0.97	0.95	0.97	0.94	0.94	0.98
		女	1.05	0.90	0.94	1.00	0.26	0.57	0.86	0.86	0.96	0.92	0.88	1.02	1.02	0.97	0.98
金沢	0	男	0.52	0.97	1.04	0.83	0.67	0.56	0.96	1.00	0.96	0.98	0.95	1.04	0.98	0.96	0.91
		女	0.81	0.94	0.96	0.95	0.65	0.55	0.88	1.04	0.84	0.95	1.02	0.99	1.01	0.97	0.95
増田	0	男	0.86	1.04	1.06	0.91	0.70	0.89	1.04	0.89	1.03	0.98	0.97	0.97	1.02	0.98	0.92
		女	0.63	1.00	0.98	0.83	0.61	0.79	0.88	0.91	1.07	0.98	0.97	1.01	0.98	0.99	0.98
亀田	0	男	0.80	1.13	0.94	1.00	0.53	0.65	0.72	0.96	0.94	0.85	0.97	0.98	1.00	0.95	0.93
		女	0.69	1.00	0.85	1.00	0.45	0.75	0.82	1.06	0.97	0.89	0.97	0.97	1.00	0.98	0.94
西成瀬	0	男	1.14	1.00	0.67	0.75	0.70	0.67	0.81	0.83	0.81	0.90	0.92	0.97	1.00	0.98	0.89
		女	0.40	1.13	1.00	0.82	0.53	0.57	0.81	0.92	0.87	1.07	1.00	1.00	0.98	0.92	1.00
狸半内	45	男	0.14	0.71	0.63	0.75	0.45	0.56	0.71	0.83	0.79	1.00	0.88	0.92	1.00	0.86	0.89
		女	0.50	1.00	1.10	1.00	0.89	0.33	1.00	0.83	0.75	0.91	1.00	0.67	0.92	0.88	0.91
浅舞南部	0	男	0.86	1.08	0.94	0.91	0.65	0.77	1.04	1.04	1.07	0.97	0.92	1.02	0.97	0.97	0.93
		女	0.85	1.15	0.97	0.93	0.69	1.02	0.70	0.96	1.08	0.96	0.95	0.94	0.99	0.98	1.00
浅舞北部	0	男	1.11	0.94	1.01	0.89	0.81	0.71	0.98	1.04	1.03	0.97	1.03	0.97	0.94	0.96	0.91
		女	0.87	0.98	1.09	0.93	0.36	0.88	0.90	0.85	0.93	0.94	0.95	1.00	1.00	0.97	0.92
		男	0.85	1.09	1.00	0.89	0.67	0.88	1.09	0.99	0.99	0.98	1.02	0.98	0.94	0.93	0.90
吉田	0	男	0.88	1.09	1.01	0.92	0.59	0.88	1.00	1.00	1.03	1.05	0.93	1.01	0.99	0.96	0.94
		女	0.87	1.13	0.91	0.89	0.60	0.77	1.01	0.88	1.06	0.99	0.99	0.97	0.93	0.94	0.98
蘭間	0	男	0.72	0.95	0.94	0.89	0.60	0.71	1.10	0.94	1.08	0.97	0.93	1.03	0.96	0.98	0.98
		女	0.73	1.13	1.00	0.83	0.65	0.83	0.99	1.15	0.98	0.98	0.95	0.98	0.98	0.96	0.90
沼館	0	男	0.86	1.21	0.99	0.88	0.53	0.73	1.14	1.01	0.93	0.94	1.02	0.98	0.99	0.98	0.98
		女	1.07	1.11	1.00	1.00	0.71	0.77	0.97	0.97	1.10	1.04	0.97	1.00	1.02	0.95	0.93
里見	0	男	1.26	1.26	1.15	1.00	0.49	0.68	1.08	1.03	0.98	0.98	1.11	1.00	1.00	0.99	0.97
		女	0.82	1.05	1.08	0.79	0.45	0.82	0.97	0.98	0.95	0.98	1.00	1.00	0.98	0.95	0.98
福地	0	男	0.86	1.10	1.06	0.90	0.70	0.61	0.96	0.98	0.93	0.97	1.03	1.00	0.99	0.96	0.94
		女	0.50	1.30	0.91	0.90	0.62	0.85	1.12	0.84	0.94	0.97	1.00	0.95	0.96	0.98	0.84
陸合	0	男	1.75	1.38	1.00	0.89	0.82	0.87	1.00	0.95	0.91	0.96	1.00	1.05	1.00	0.98	0.98
		女	0.08	0.83	0.92	0.95	0.74	0.67	0.65	0.77	0.96	1.00	0.89	1.00	0.94	0.88	0.83
大沢	0	男	0.62	0.62	0.92	0.93	0.53	0.42	0.77	0.70	0.96	1.00	0.91	0.98	0.90	0.90	0.92
		女	0.40	0.87	0.98	0.98	0.56	0.87	0.56	0.98	0.98	0.90	1.02	0.97	0.95	1.00	0.95
大森	0	男	0.52	0.94	1.03	0.91	0.42	0.57	0.73	0.90	1.05	0.89	0.95	0.96	0.94	0.93	0.97
		女	0.68	0.89	1.03	0.84	0.43	0.69	0.87	0.89	1.00	0.95	0.95	1.00	0.95	0.96	0.96
白山	0	男	0.94	0.94	0.92	0.79	0.69	0.78	0.82	0.94	0.94	0.98	1.02	0.98	0.97	0.98	0.94
保呂羽	45	男	0.33	1.00	0.25	0.50	0.46	0.45	1.33	0.68	0.91	1.00	0.94	0.95	0.96	0.88	0.89
		女	0.60	0.80	0.83	0.71	0.42	0.64	0.56	0.90	0.75	0.86	1.00	0.94	0.97	0.96	1.00
川西	0	男	1.17	1.17	1.02	0.87	0.53	0.91	0.84	0.98	1.05	0.98	1.02	1.04	0.98	0.98	0.95
		女	1.04	1.04	1.04	0.79	0.64	0.91	0.97	1.08	1.02	1.04	0.99	0.99	0.95	0.95	0.96
十文字	0	男	0.66	0.97	1.05	0.92	0.62	0.85	1.27	1.06	1.02	1.01	0.96	0.95	0.94	0.97	0.92
		女	1.03	0.96	1.02	0.93	0.69	0.98	1.10	1.05	1.02	0.99	1.02	0.98	1.01	0.97	0.98
三重	0	男	0.97	1.20	0.97	0.89	0.51	0.71	1.07	1.03	1.13	0.91	0.97	0.96	1.02	0.93	0.85
		女	1.10	1.17	1.05	0.98	0.56	0.85	1.40	1.12	1.11	0.94	0.97	1.00	1.01	0.98	1.00
楯田	0	男	0.48	1.06	1.05	0.93	0.66	0.67	0.88	1.10	0.98	1.00	0.97	1.00	0.95	0.98	0.84
		女	0.93	1.13	0.93	0.94	0.70	0.69	0.87	1.03	0.97	1.00	0.97	0.97	0.97	0.93	0.96
陸合	0	男	0.76	0.79	0.98	0.89	0.60	0.80	0.80	0.94	0.93	0.92	0.93	1.02	1.00	0.96	0.91
		女	0.66	0.94	0.87	0.84	0.54	0.76	0.95	0.85	0.91	0.84	0.96	0.99	1.00	1.00	0.95
山内	0	男	0.90	1.07	1.06	0.86	0.57	0.68	0.86	0.93	0.96	1.01	0.94	0.99	0.93	0.98	0.93
		女	0.86	1.00	0.92	0.93	0.61	0.76	0.82	1.05	0.96	0.96	1.03	0.94	0.98	0.97	0.95
大雄	0	男	0.79	0.99	0.96	0.87	0.68	0.81	0.95	0.95	0.99	1.04	0.99	0.93	0.94	0.92	0.95
		女	0.62	0.96	0.96	0.90	0.56	0.70	1.01	1.02	0.93	1.04	0.95	1.00	0.96	0.98	0.96
		男	0.96	0.90	0.90	0.93	0.87	1.27	1.01	1.01	1.04	0.93	0.97	1.01	0.98	0.98	0.91
		女	0.68	0.80	0.89	0.93	0.71	1.03	1.01	1.09	0.86	0.98	1.03	1.05	0.99	0.98	0.95
桂城	0	男	0.93	1.01	0.98	1.11	0.56	1.22	1.12	0.89	1.00	1.04	0.94	0.97	0.99	0.98	0.96
		女	0.79	0.98	0.96	0.92	0.66	1.10	1.10	0.97	1.01	0.96	1.06	1.03	1.00	1.01	1.01
城西	0	男	0.89	1.06	1.10	0.87	0.83	1.10	1.06	1.08	0.99	1.04	1.01	0.97	0.97	0.90	0.96
		女	1.14	1.06	1.02	0.91	0.73	1.05	1.14	0.85	1.00	0.95	0.98	0.96	0.96	0.97	0.95
有浦	0	男	0.97	0.99	1.04	0.88	0.73	1.47	1.33	1.10	1.04	0.98	1.00	1.02	0.98	0.96	0.94
		女	0.90	1.03	1.01	0.91	0.77	1.03	1.08	1.09	1.03	0.98	1.01	0.98	1.04	1.00	0.94
釈迦内	0	男	0.94	0.94	0.91	0.94	0.51	0.88	1.07	1.02	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98	0.95	0.91
		女	0.71	1.02	0.98	0.97	0.78	0.75	0.98	1.01	1.02	0.99	0.97	0.94	0.99	0.97	0.96
長木	0	男	1.35	1.09	1.20	0.79	0.62	0.93	0.97	1.04	1.07	0.95	0.98	1.04	0.98	1.01	0.94
		女	1.06	0.98	1.02	0.89	0.51	0.96	0.99	1.17	0.99	0.97	1.00	1.03	1.02	1.02	0.98
雪沢	0	男	1.20	1.20	0.60	0.78	0.50	0.67	1.00	1.60	0.83	1.00	1.00	0.92	0.96	0.93	0.86
		女	0.25	0.75	1.												

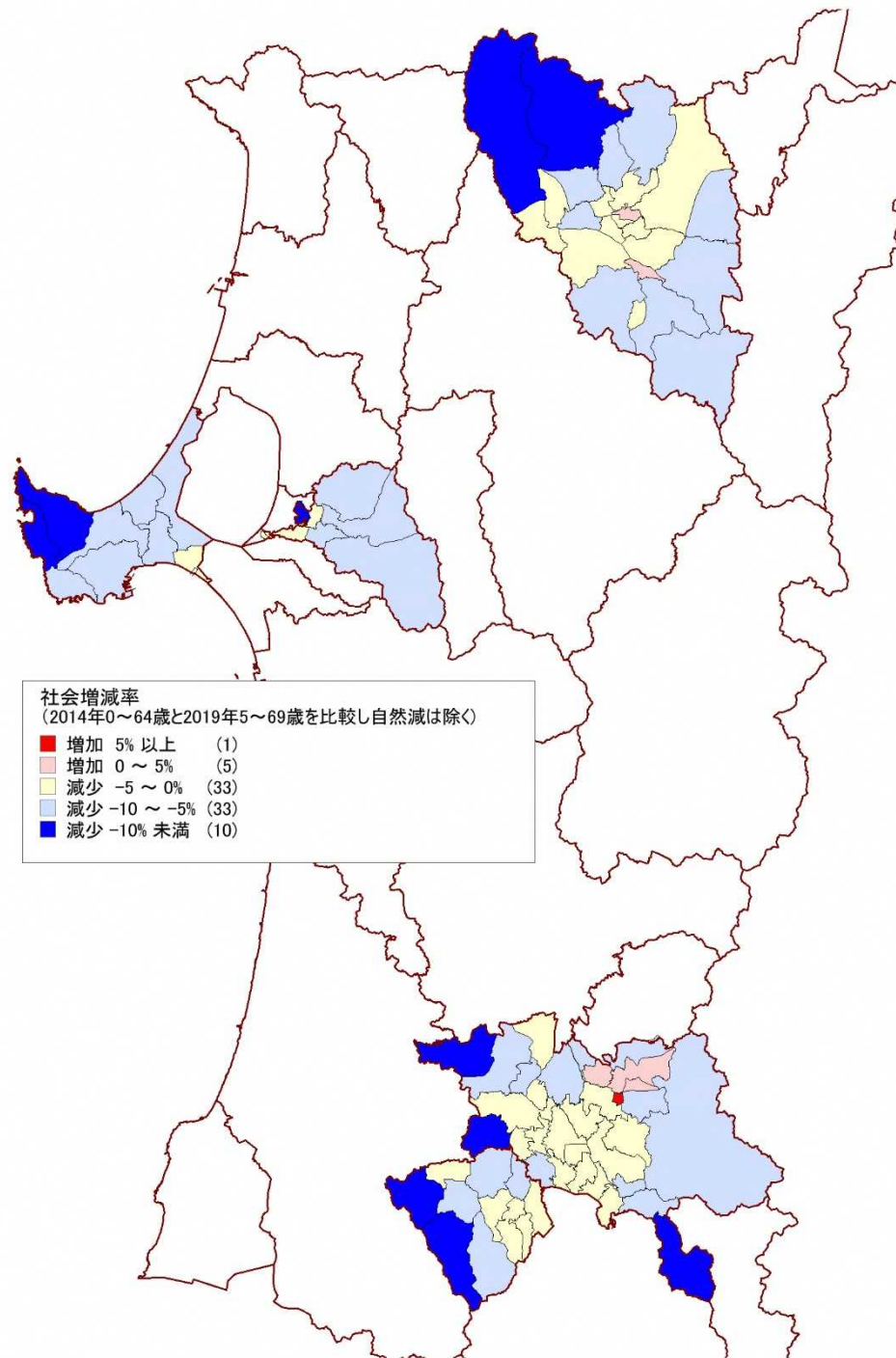
人口増減率



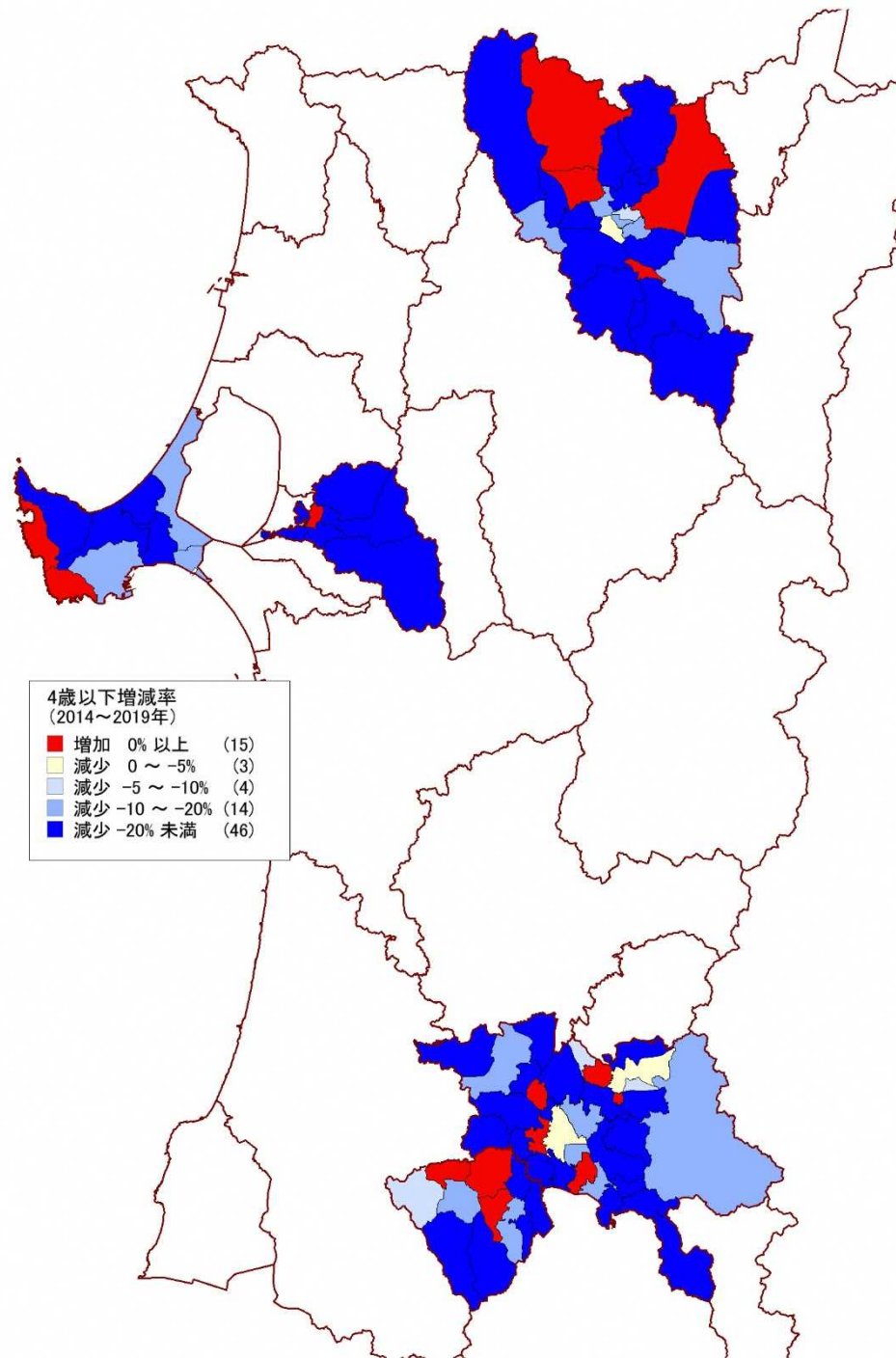
高齢化率



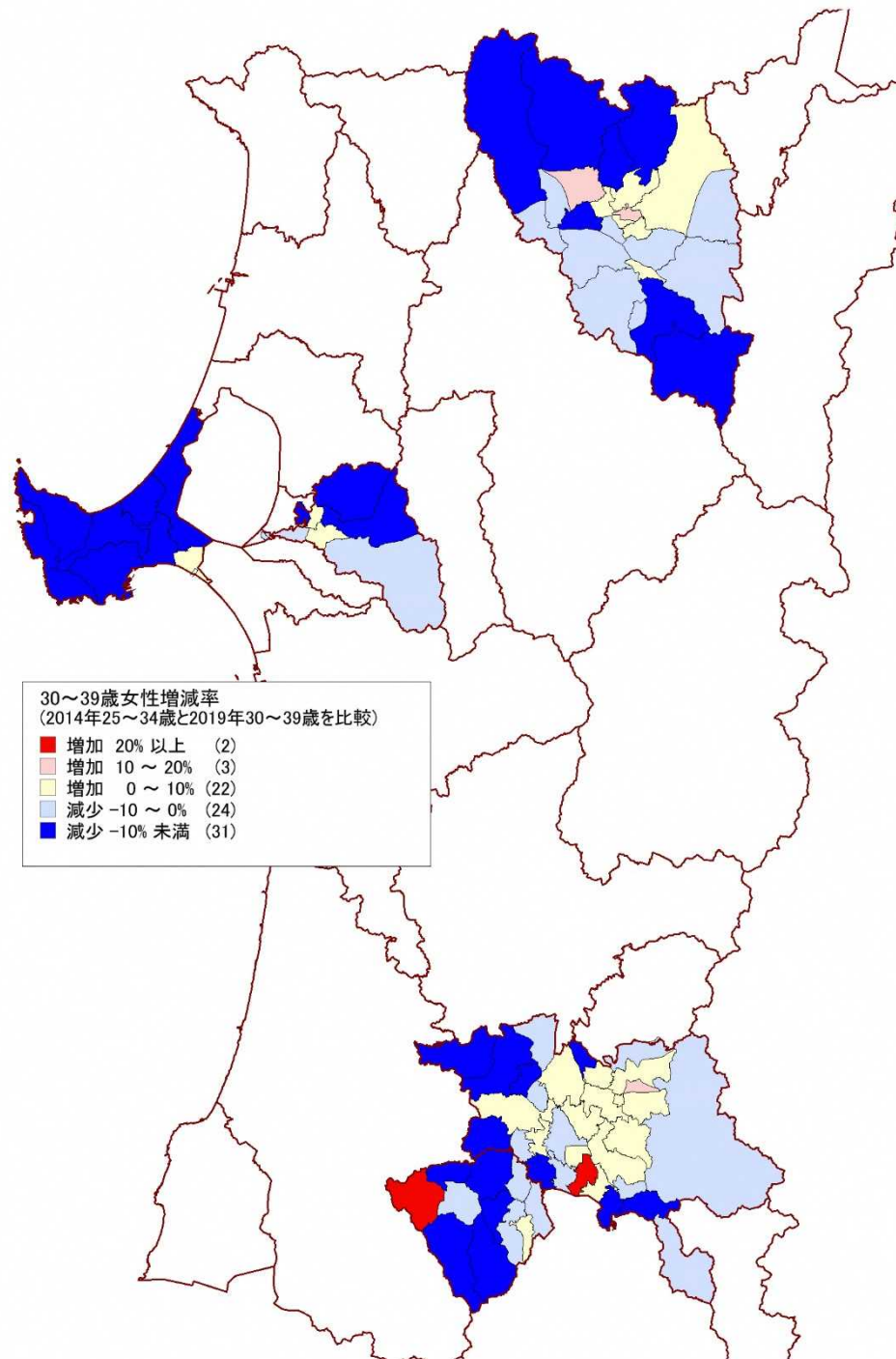
社会増減率



4歳以下増減率

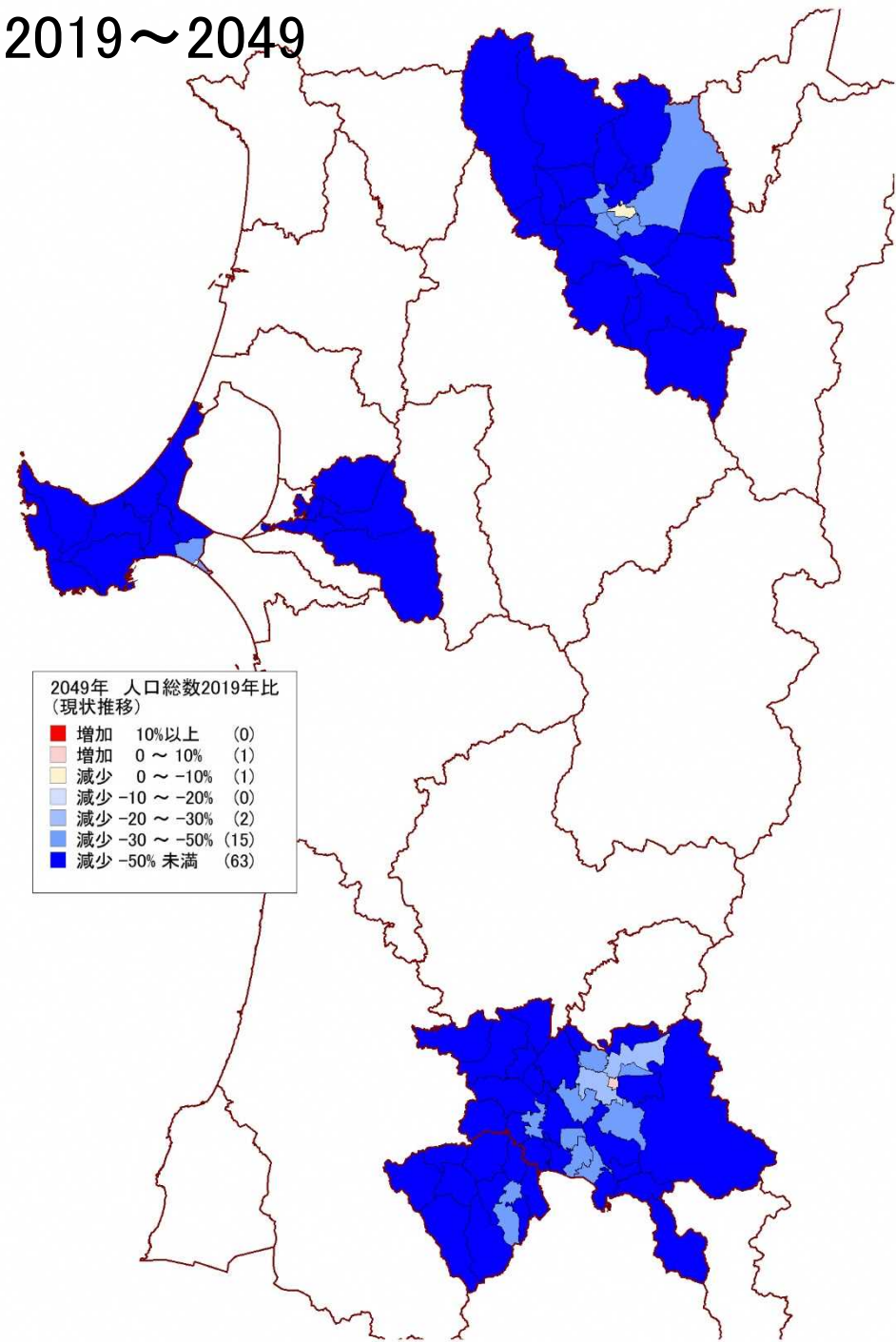


30代女性 コーホート増減率

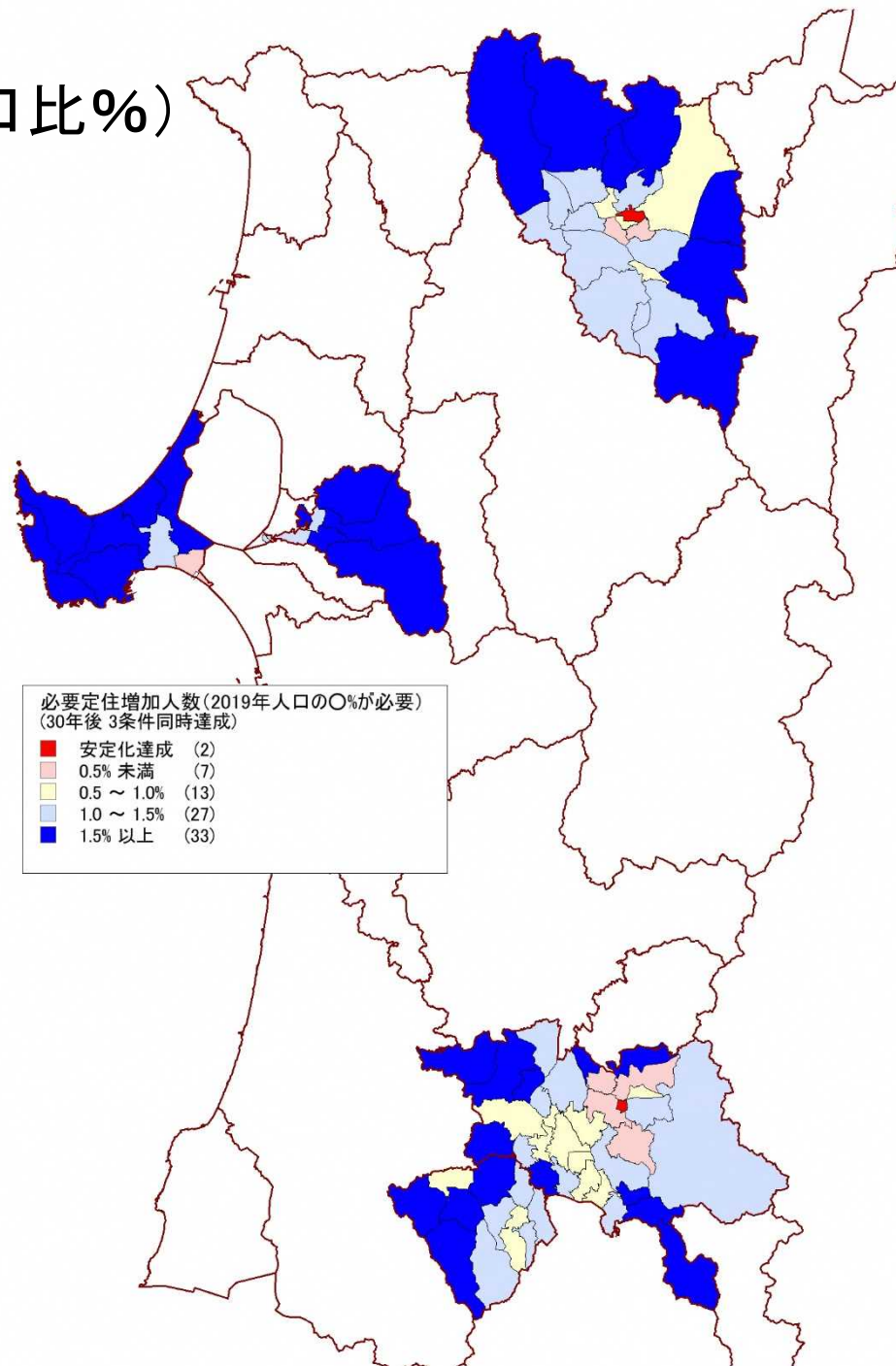


秋田県の共通の課題
30代女性の取り戻しが十分でない！

人口増減率予測 2019～2049



総合的人口安定化に 必要な定住増加(人口比%)



●市町村の地区別人口ビジョン・戦略事例（島根県邑南町）

12地区の人口動態のバランスの良さが特徴（一人勝ちや一人沈みがない）

邑南町	シナリオ1 このままで推移すれば・・・									シナリオ2 毎年 48 組の定住を実現！						
	2013					2023				子連れ ターン 増加組数	若者 ターン 増加組数	定年 帰郷 増加組数	2023（改善）			
	人口	人口増減率	高齢化率	小学生	小学生増減数	人口	高齢化率	小学生	対2013 増減率				高齢化率	小学生		
阿須那	835	-16.0	52.1	29	-4	580	56.9	19	阿須那	2	2	2	742	-11.2	47.2	32
井原	718	-9.9	40.1	28	-8	597	47.3	15	井原	2	2	2	746	3.9	40.5	24
口羽	815	-10.4	54.0	22	-8	616	57.1	20	口羽	1	1	1	703	-13.7	51.3	27
高原	958	-7.2	43.2	42	-7	787	46.5	33	高原	1	1	1	872	-9.0	43.0	38
市木	479	-6.3	41.8	20	1	432	33.8	39	市木	0	0	0	432	-9.8	33.8	39
出羽	926	-6.2	37.7	38	0	795	39.5	37	出羽	1	1	1	879	-5.0	36.8	42
中野	1,599	-2.0	36.0	64	-10	1,482	47.7	38	中野	3	3	3	1,713	7.2	43.0	52
田所	1,863	-4.7	42.1	87	1	1,642	44.8	73	田所	2	2	2	1,809	-2.9	41.8	85
日貫	543	-12.7	44.6	19	-7	416	50.5	9	日貫	1	1	1	498	-8.4	44.2	14
日和	439	-8.9	43.5	12	-5	366	47.6	15	日和	1	1	1	452	2.9	40.8	20
布施	220	-10.9	52.3	8	-2	183	60.4	4	布施	1	1	1	255	15.9	47.1	9
矢上	2,285	-6.7	32.0	141	-9	2,077	34.2	120	矢上	1	1	1	2,166	-5.2	33.2	127
合計	11,680	-8.5	43.3	509	-58	9,972	47.2	422	合計	16	16	16	11,268	-3.5	41.9	508

16組 × 3世代 = 48組・112人（人口の1%）
の定住増加で人口、高齢化率、子供数の安定を達成！

このような具体的な目標を設定し、毎年成果を確かめながら、具体的な定住戦略を！²⁸

邑南町地区別戦略 年度末報告会

12地区がブースをつくり、定
住増加の具体的な取り組み
の成果をお互いに発表・共有

2019年3月19日



まとめ～「診断」からの「目標設定」・「地域同士の学び合い」こそ、進化の原動力

1. 今までの地域政策の欠陥

行政の本質とは、現場から始まり、現場に還る進化サイクル

研究所ポリシー

- (1) きめ細かい現状分析・予測の欠如→地域現場で本当に何が起きているか、わからないまま方針決定
- (2) 行政から地域への一方通行の政策展開→地域同士の学び合いによる共進化、共通する促進・阻害要因析出
- (3) 現状把握から解決への連続性の欠如→分野を横断した連結シミュレーターによる一気通貫型解決システム

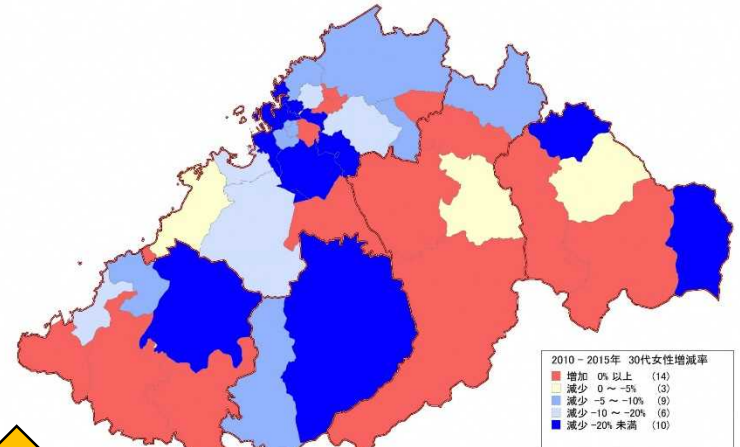
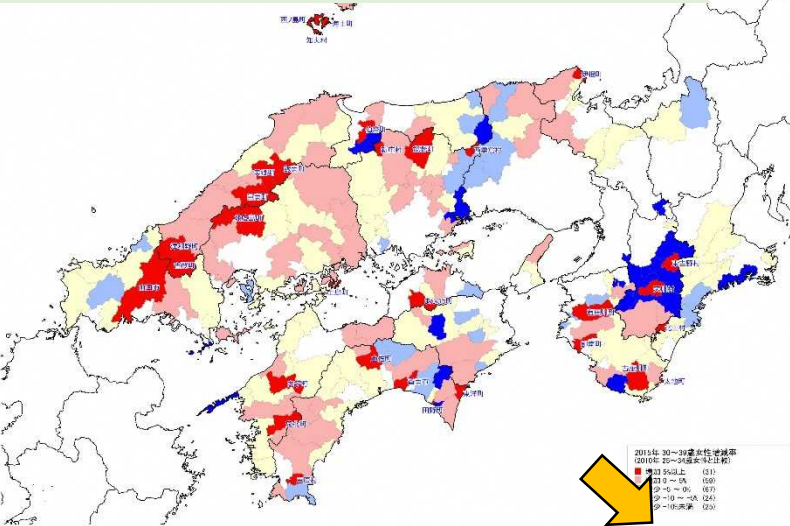
2. まず、地域の現状と未来を「見える化」

- (1) 例えば、どこで30代女性が増えているか、分析して地図作成。

- (2) 自治体単位で県やブロックごとに

手法
マス・ローカリズム

- (3) 自治体内でコミュニティごとに



- (4) 成果を上げている（上げていない）地域に共通する要因は？

EBPM

- (5) 自治体・コミュニティ同士の学び合いへ

相乗効果

- (6) 現場のエビデンスに基づく地域政策の形成へ

「自分と同じようなところはどうしてる!？」

「現場で有効性を証明済みの政策で確実な進歩へ」

地元に女性を取り戻す！

広島県三次市の事例 女性活躍プラットフォーム (起業支援センター)

専門的な相談や仲間づくり
に対応。子連れにも優しい空間づくり。

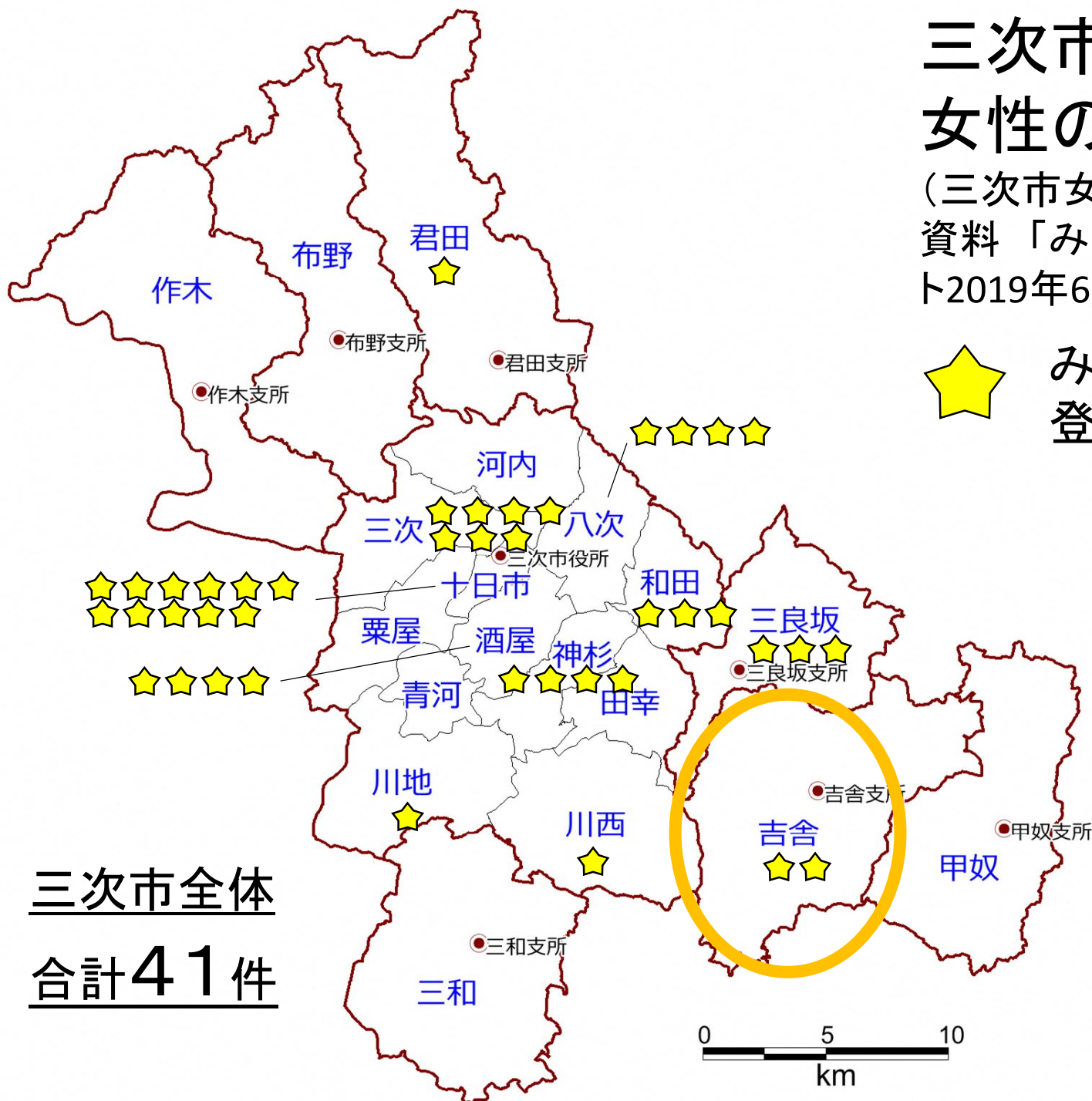


三次市における 女性の活躍

(三次市女性活躍支援課 提供
資料「みよしアントレーヌリス
ト2019年6月認定」より作成)



みよしアントレーヌ
登録事業者



三次市全体
合計41件

「（仮称）きさ IJUネット」の構築

CONCEPT

ここに住んで良かった, 住みたいと思える移住支援ネットワーク

交流



移住者同士の繋がりを深める活動

- ・親睦・情報交換・交流活動
- ・移住者への参加呼びかけ

関係づくり

地域との関係づくり

- ・地域コミュニティへの参画
- ・相談活動, 支援活動
- ・まちづくりへの提言



波及効果

新たな移住者の受入れ支援

- ・移住相談, 受入支援, 空家紹介・お試し住宅
- ・情報発信, PR活動



きさ
IJUネット

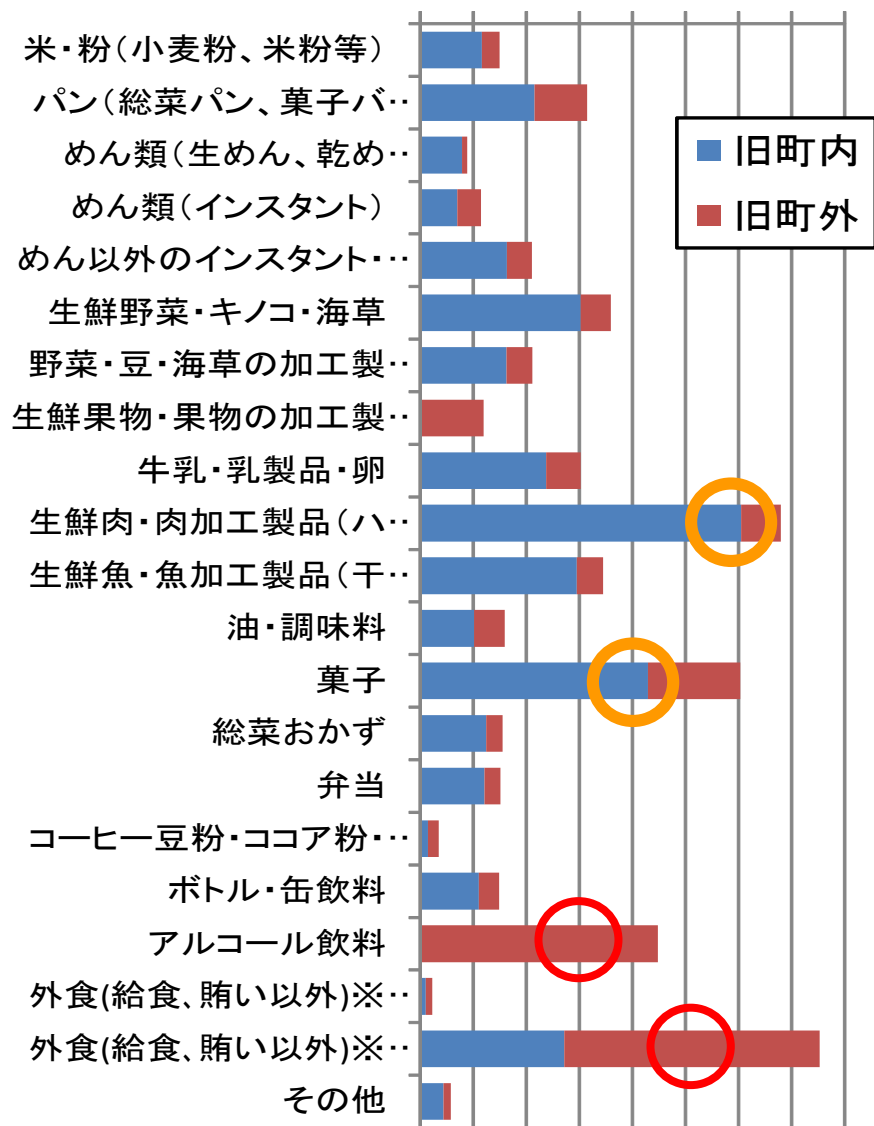
夫婦で起業 ～サポートした集落支援員さん



吉舎の商店街
築100年以上の
古民家を再生

3. 所得1%を取り戻す

1年間の食費支出 0 1 2 3 4 5 6 7 8 万円



子育て世帯の消費特徴と

(1) 食費 潜在需要例 (by有田研究員) 購入先でみると

○外食、アルコールは町外購入が多い
→1世帯当たり年間約8万円が町外移出

消費額でみると

○肉類、菓子類などの支出が特に高い
→町内購入が多いが、町内生産でないため、
販売手数料除く約10万円は町外移出

(2) 住居光熱費

○灯油・ガス代など住居光熱は大部分町外
流出→年間約11万円(○町平均)

↓ 潜在需要として把握が可能

- ①地域の世帯構成把握
- ②世帯構成踏まえ、サンプル設定し、本調査手法により食料や燃料の消費把握
- ③地域外への移出額把握(①×②)

→例えば○町の子育て世帯(18歳未満親族のいる950世帯)の4割が菓子の半分を地産地消型にできたら...



地方都市郊外によくあるロードサイドショップ

小売り業（食品）における地元からの仕入率、地元産率

業種	分野	年間仕入額	域内仕入率	地元産仕入率
産直市A	直売所	2億6221万円	72%	53%
産直市B	直売所	9320万円	61%	55%
大手全国スーパー	スーパー	16億3014万円	1%	1%
JAスーパー	スーパー	9319万円	8%	8%
大手コンビニA	コンビニ	9337万円	0%	0%
食料品店	一般店	5800万円	5%	5%

飲食・宿泊施設における地元からの仕入率、地元産率

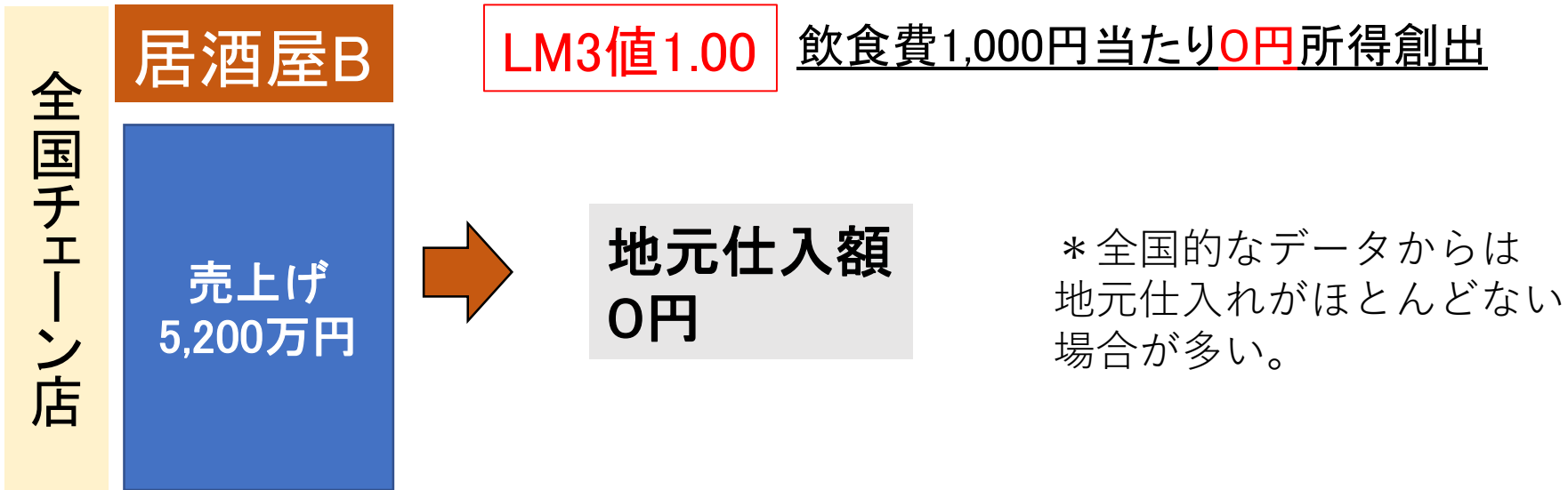
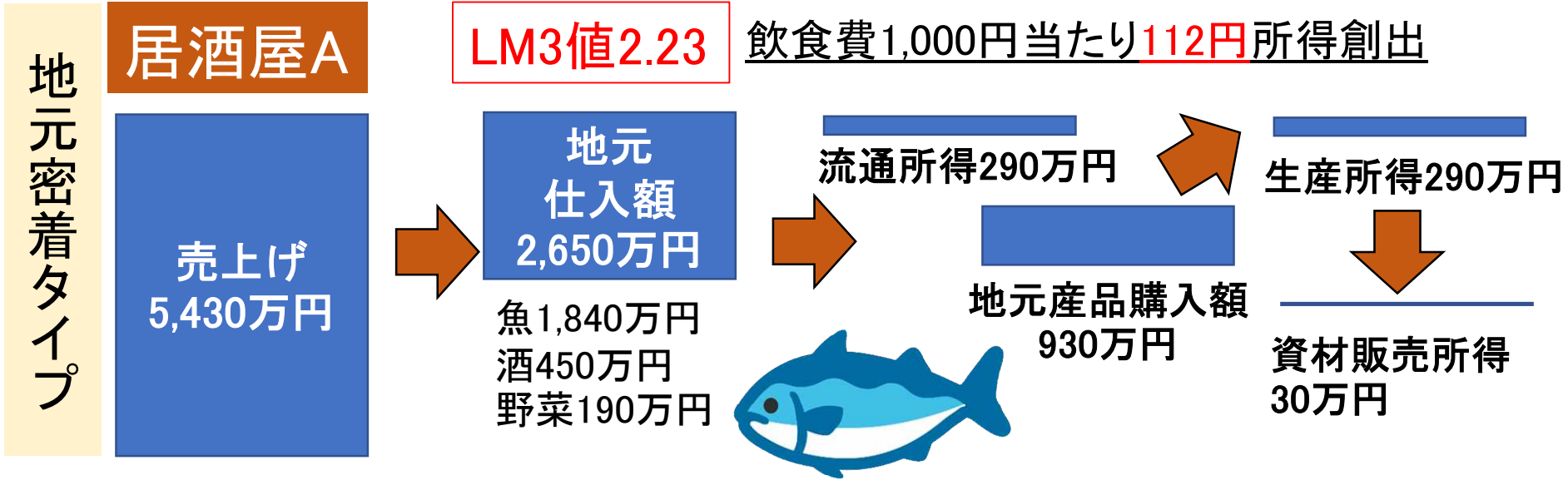
業種	分野	年間仕入額	域内仕入率	地元産仕入率
レストラン	飲食	917万円	28%	13%
らーめん屋	飲食	384万円	17%	14%
蕎麦屋	飲食	265万円	4%	0%
観光施設A	宿泊	983万円	73%	54%
観光施設B	宿泊	810万円	5%	2%

*全国・中山間地域4町の事業体調査より（2016年）

LM3(地域内乗数3)理論に基づいた(産業連関表が無くても出来る！) 消費・流通・生産の3段階を通じた域内経済循環の把握

ステージ 設定	ステージ1 消費	ステージ2 流通	ステージ3 生産	ステージ4 投入財生産
地域外	域外消費者 域外事業体	域外事業者	域外生産者	域外投入財生産者
地域内	家計消費  	スーパー 直売所 JA,GSなど  	農家 林家 など  	農林業機械 燃料、肥料、農 薬、種子など 
域内所得	事業体域内賃金 ①	流通事業者域内賃 金②	生産者域内 賃金③	投入財生産者 域内賃金④
事業体経由 パターン LM3計算 (LM4)	R1 = 家計購入 額=事業体売上 額(予算額)	R2 = 域内調達 額①+事業体域内 賃金②	R3 = 流通事業 者域内調達額② +流通事業者域 内賃金③	R4 = 生産者 域内調達額③ +生産者域内 賃金④
地域内乗数の 基本算定式 $R1 / R1 + R2 + R3$ 	一般消 費者・事 業体から のLM3	R1 = 流通事業 者売上額①	R2 = 流通事業 者域内調達額② +流通事業者域 内賃金③	R3 = 生産者 域内賃金④ +生産者域内 調達額③

同じような売上げ規模の居酒屋同士で比較しても、地元仕入れや地元産品利用の違いで、地域全体としては、域内所得の創出に大きな違いがあることがわかります。

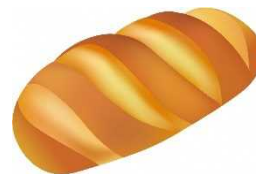


富良野
海外からのスキー客も
カフェでくつろぐ

地元の小麦粉と
バターを使った
パン屋さん

応用分析①～地元でパンを作る意味

同じ2,000万円の売り上げのパン屋があったとしても

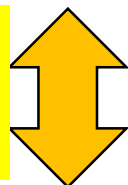


「LM3」手法で生産段階まで追跡すると、地元所得創出額は大きく違う！

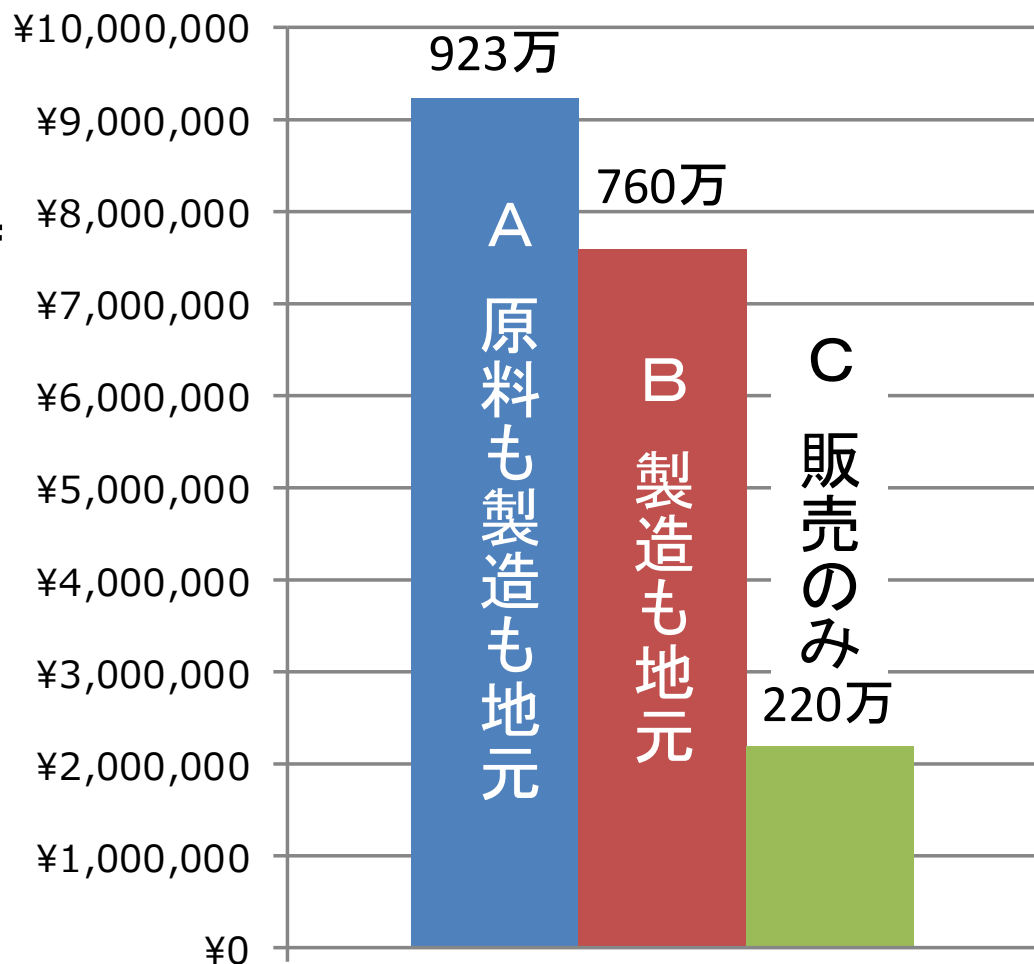
1個100円の域外のパン
地元所得創出額 11円

50円の価格差以上！
58円の所得差

1個150円の完全地元パン
地元所得創出額 69円



地元の所得創出額



(株)キヌヤの 地産地消率

* (株)キヌヤ本社＝島根県益田市、島根県・山口県に21店舗

時点	割合
2010年	10.1%
2017年	16.4%

6割アップ



年商全体133億円

地元産商品販売額22億円

LBクラブ(ローカルブランド)

に600以上の事業者が参加

地元仕入れ額

19億円

* 安心でおいしい、地域の個性ある暮らし

応用分析②～野菜を買うなら産直市

同じ2,000万円分の
生鮮野菜を買ったとしても

「LM3」手法で生産段階
まで追跡すると、地元所得
創出額は大きく違う！

同様に

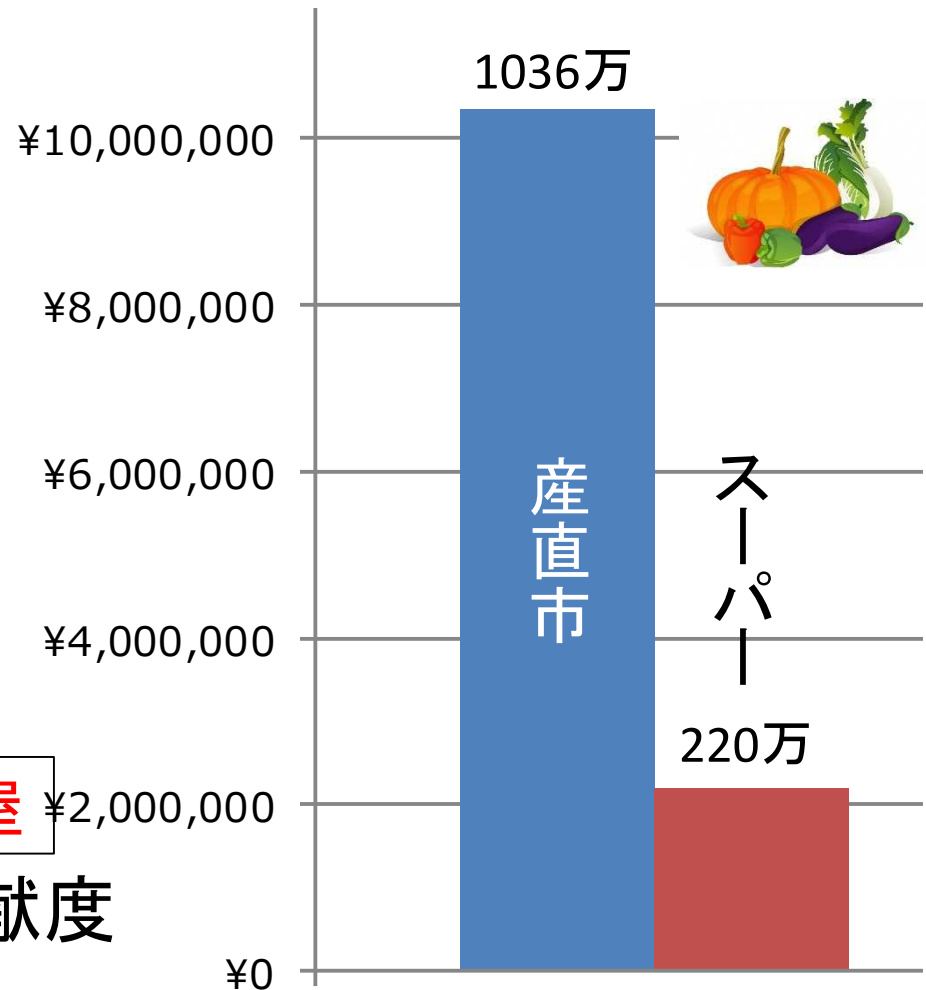
地産地消の農家レストラン

VS

全国チェーンのレストラン、居酒屋

等の店舗ごとの域内経済貢献度
を比較できる！

地元の所得創出額



* 福井県池田町の取引状況データ(店舗、農家等)を基に試算。従業員はすべて地元雇用。

未来形は重層的な循環圏～地元の循環自治区

三次循環圏
地方ブロック

定住循環圏
地方都市圏

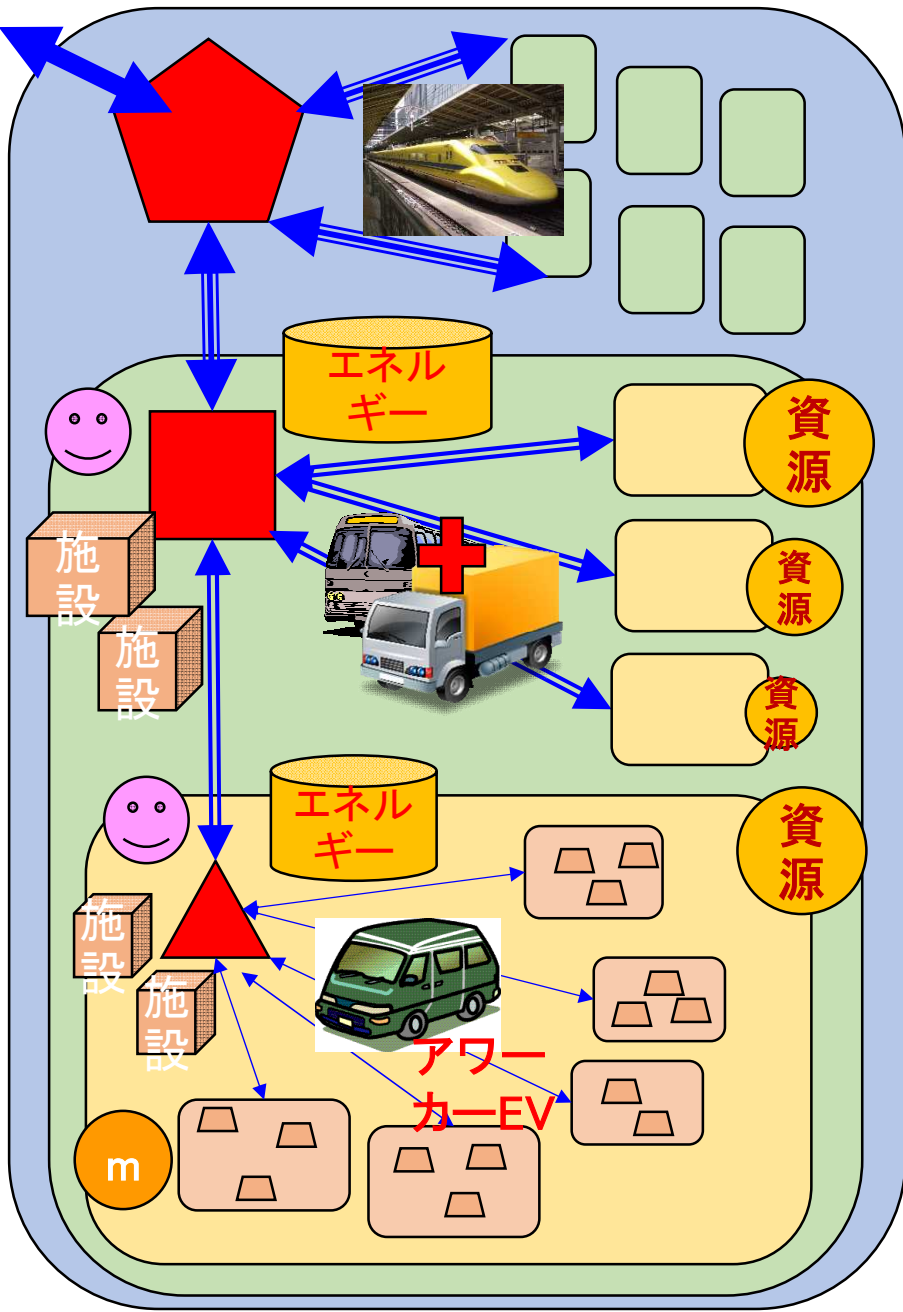
循環自治区
一次生活圏

★地元は
not競争圏
yes共生圏

ブロック拠点

ハブ拠点

小さな拠点



<輸送モード>

<検討課題群>

ブロック
拠点

専門 & 高速
輸送

ハブ
拠点

多分野
複合輸送

小さな
拠点

少量多品種
複合輸送

集落
世帯

適正な配置
と供給網

高速道路 &
鉄道結合で
スマートな新
「軌道化」

専門大量輸送と
複合少量輸送の
スマートな結節機能

情報ネットワーク

決済システム

施設の集約度
(ワンストップ性)

小さな住民力結合

貨物輸送ベクトル
(量・頻度・行先)

旅客輸送ベクトル
(量・頻度・行先)

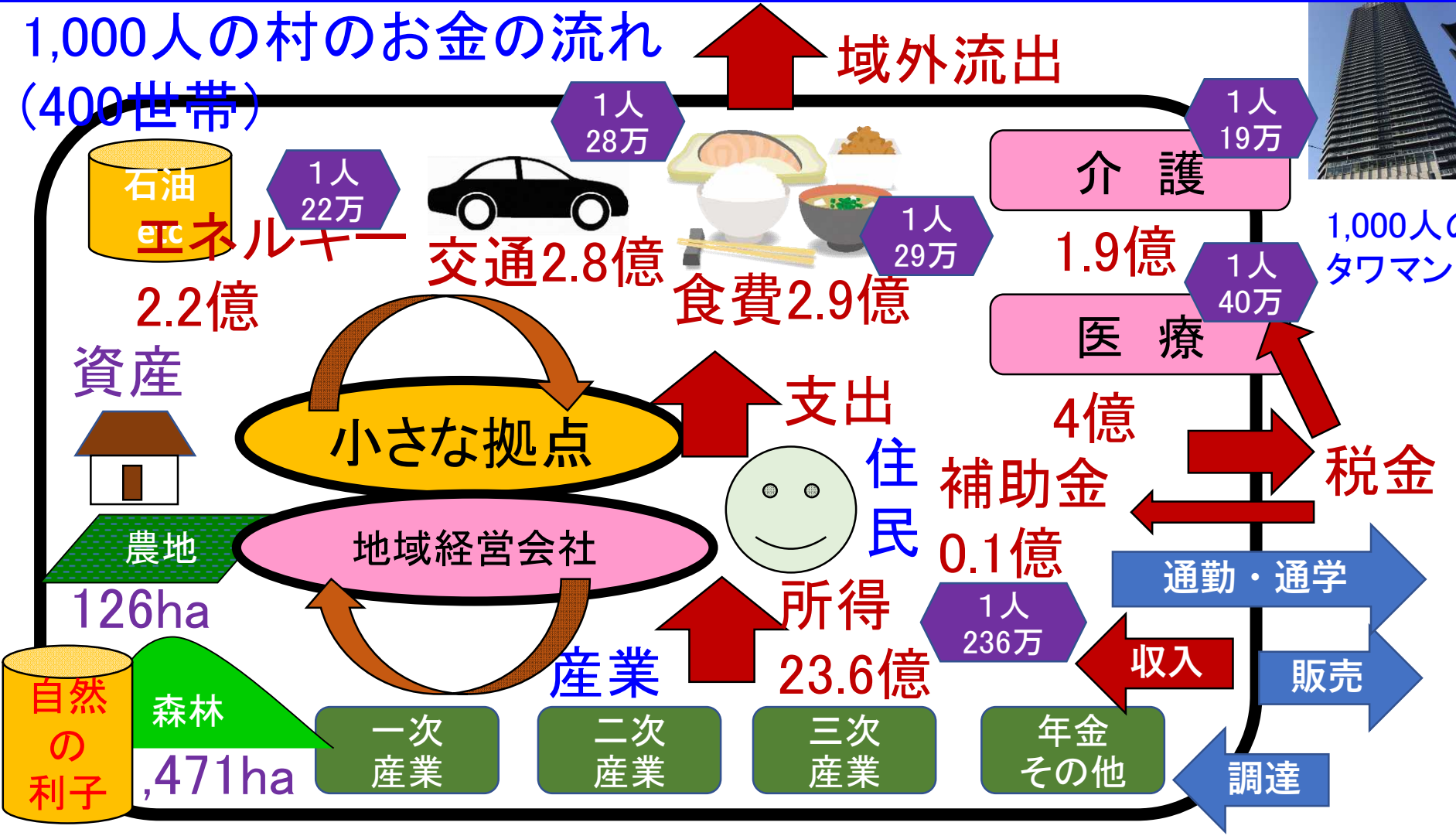
自動運転・新車両

エネルギー供給

重層的な輸送・情報・決済の
ネットワーク設計

分野横断マネジメント統合

地元のお金と底力をつなぎ直す～1000人のタワマンより1000人の村！



①所得：島根県民平均所得：236万円（2012年、「県民経済計算」島根県）、②補助金：島根県A市における20地区への支払い額から、③食費：2016年島根県邑南町瑞穂地区データより、④交通費：島根県中山間地域世帯（年収400～500万円）平均値57,529円より、⑤エネルギー支払い額：邑南町計算データより、⑥医療費：2017年度国民健康保険データより、⑦介護費：2018年度邑南町データより ⑧農地面積：2010年度の全国中山間地域における1人当たり平均面積から算出、⑨ 森林面積：2010年度の全国中山間地域における1人当たり平均面積から算出

今後30年間で比較すると、域内循環への転換が確実に得策

<地産地消で
所得増、交通は
共同化で削減>

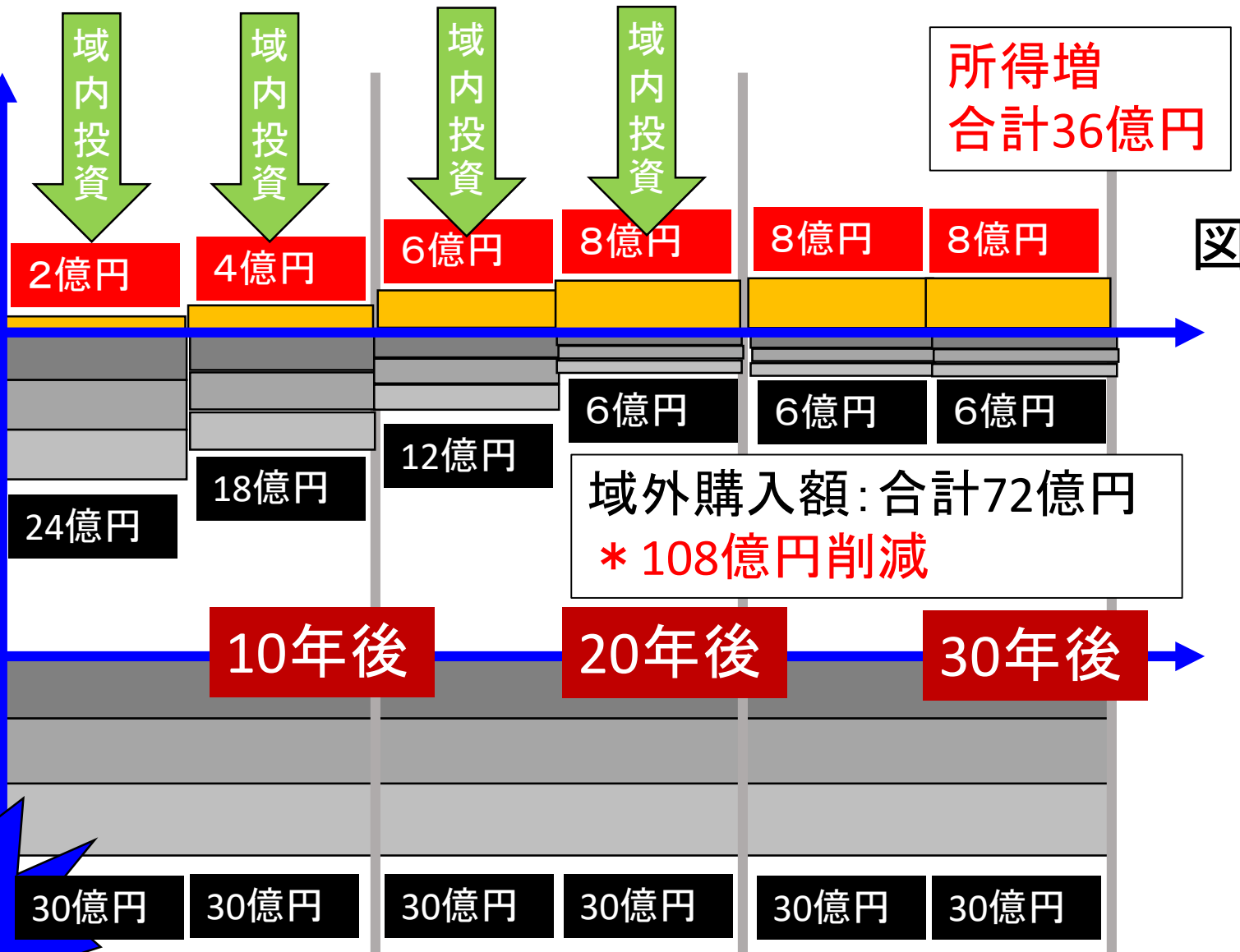
域内循環

現状推移

食料
エネルギー
食料
エネルギー
交通

<流出部門>

なぜ
しない？



所得増
合計36億円

域外購入額: 合計72億円
* 108億円削減

域外購入額: 6億円 × 30年 = 合計180億円

* 1,000人規模の地域を想定

図

山口県初 水田での ソーラーシェアリング

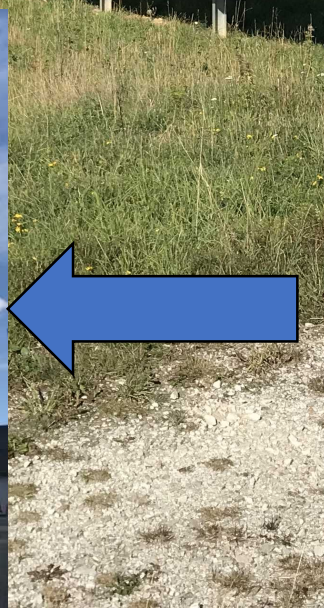
山口市阿東町 「阿東つばめ農園」 おひさま発電所



ドイツ・ラインフンスリュック郡では、137の村(総人口10万人)が共同し、木材とソーラーも含めて、ごみ処理会社を進化させ、エネルギー供給会社を設立。地域給湯・暖房にも乗り出す。



地域の学校やプールに
熱供給も行う。



郡内各地から集められ
た林地残材をチップ化

オーストリア・チロル地方・ヴェルゲル(14,000人)では、「シュタットベルゲ(都市公社)」が上下水道・電気事業から進化し、熱供給事業、交通(EVによるカーシェアリング)にも乗り出す。



★ 地元の大手
酪製品会社
の廃熱利用

35%の事業所・世帯を熱パイプで供給



カーシェアリング
用のEV

輪島市自動運転実験



4人乗りゴルフカートを改造



道路に
誘導線
埋め込み



スイス・ツエルマットの小型EV

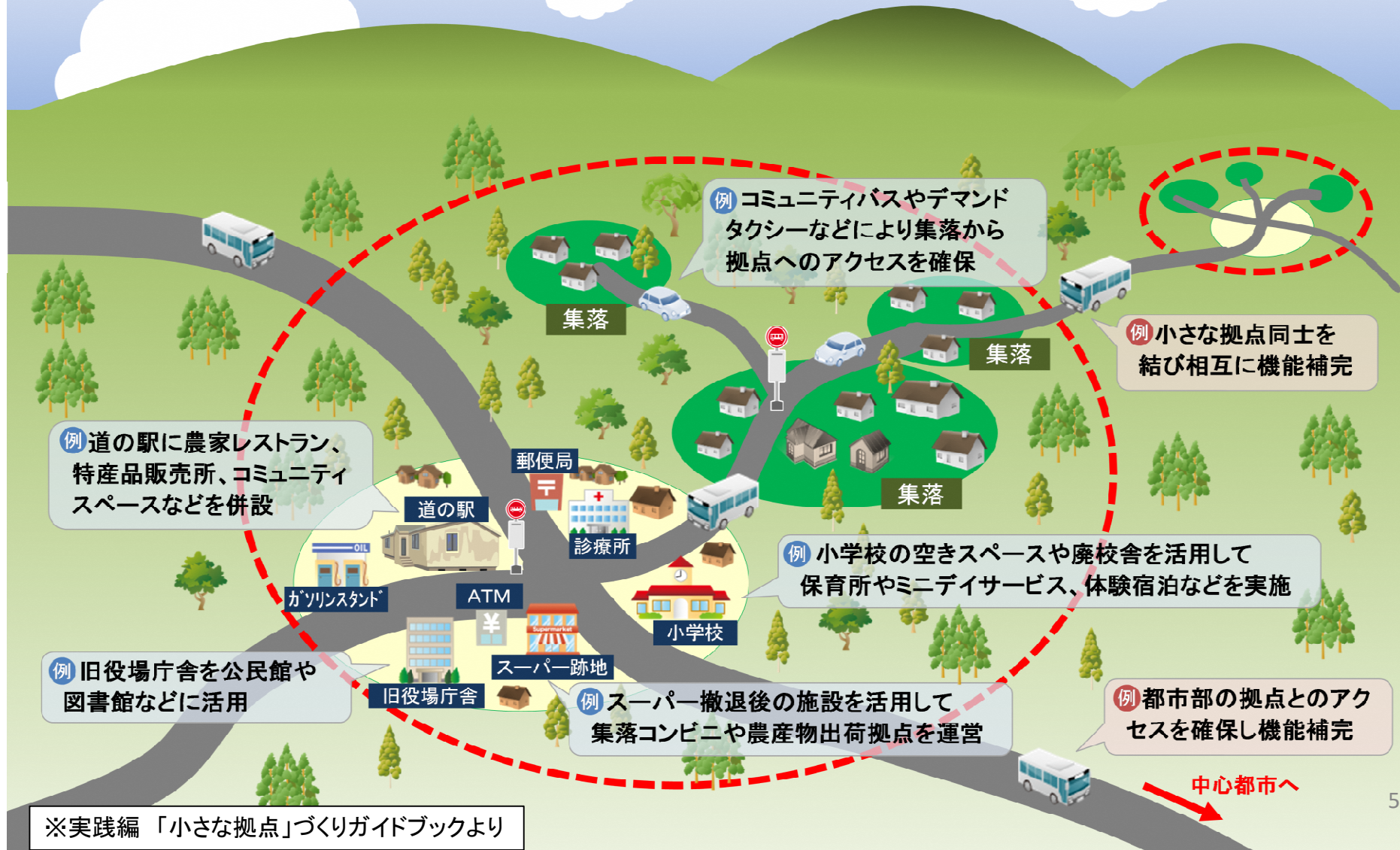
4. 合わせ技の組織・拠点を創る



「自然の利子」(食糧・エネルギー・資源)で支える条件優位性 51

国土のグランドデザインと総合戦略にも、集落地域を支える 新たな複合機能拠点として「小さな拠点」構想が登場

地元で定住と循環の「砦」を創る



新たな地域運営組織の形成エリア

＝ コミュニティ生活圏

平均的な
人口規模

●コミュニティ・ 行政単位の比較

数万人～
20万人程度

定住自立圏

合併市町村

1,000～数万人

旧市町村

＜平成の大合併＞

(中学校区など)

＜昭和の大合併＞

300～3,000人

昭和の旧村

(公民館区
現・旧小学校区)「小さな拠点」

＜明治の大合併＞

(藩政村) * 地方によっ
ては集落と重なる場合も

大字

70～80人(中四国)
200～400人
(東北・北海道)

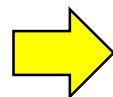
集落

* 最も基礎的・
伝統的な
地域運営単位

組

(小字など)

＝ 「小さな拠点」エリア



「定住自治区」

のような自治と
行政両面から
位置づけへ

総合病院
大型店
高校等の
機能共有

二次生活圏

都市拠点との
ネットワーク機能

一次生活圏

人口定住の
基本的単位

結節機能

- ①コミュニティの地元単位
- ②医療・福祉・教育
・商業・交通等の一次機能

集落単独では
定住を支える
基本機能や活動
が困難

各集落との
ネットワーク機能

邑南町出羽地区の取り組み

●コミュニティ × ●農業＝地域発展

●地域自治組織の立ち上げ
(12集落→「出羽自治会」)

* 総務部、生活部、交流部、産業部の設置

人口913人、高齢化率37.8%
集落数 12 (2010年)

出羽公民館区

将来像の共有

●「出羽夢づくりプラン」の作成

1,764万円

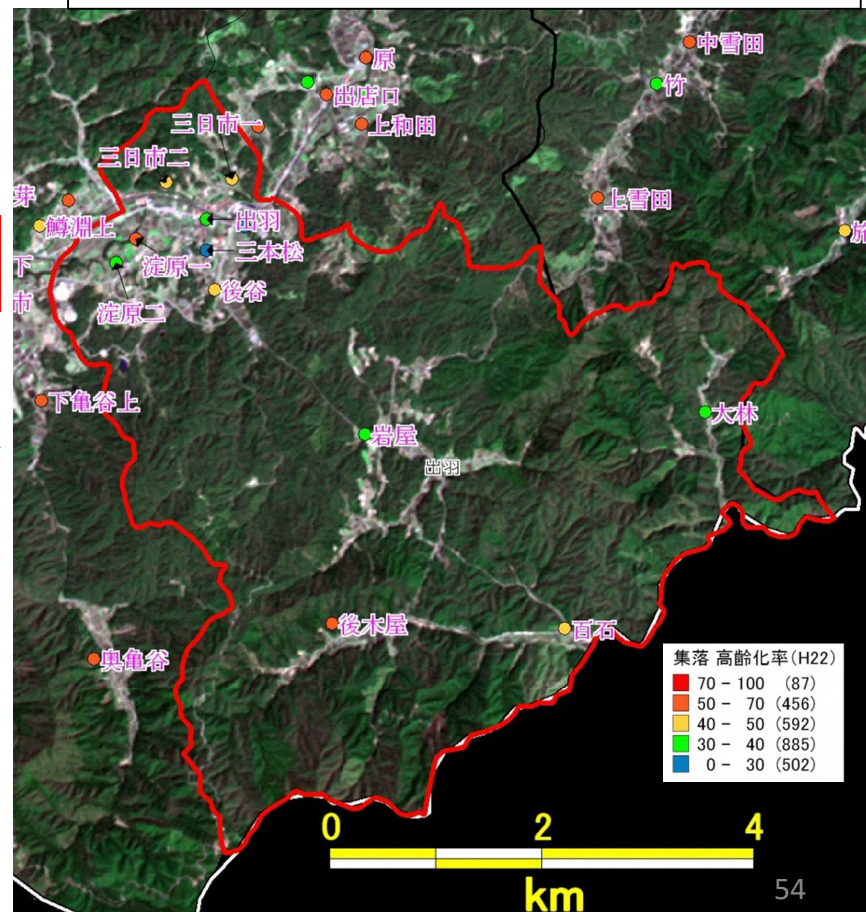
●直接支払い11協定の大合併

会計事務

●人材バン
ク(お助け
隊)設立

●地域マ
ネージャー
雇用

●耕作放棄地2ha再生



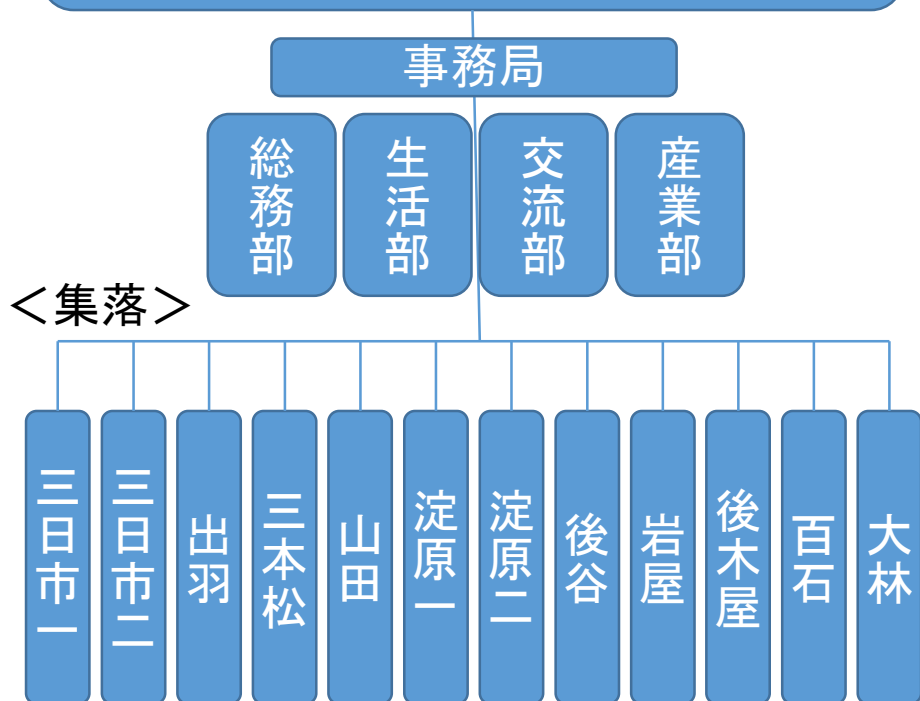
出羽自治会

= 出羽公民館エリア

連携

合同会社 出羽

自治会の機能だけでは難しい、収益事業、空き家対策、産業等について、機動的に対応できる実働部隊として2013年に設立。資本金539万円 出資社員17名（設立時6万円、6名）

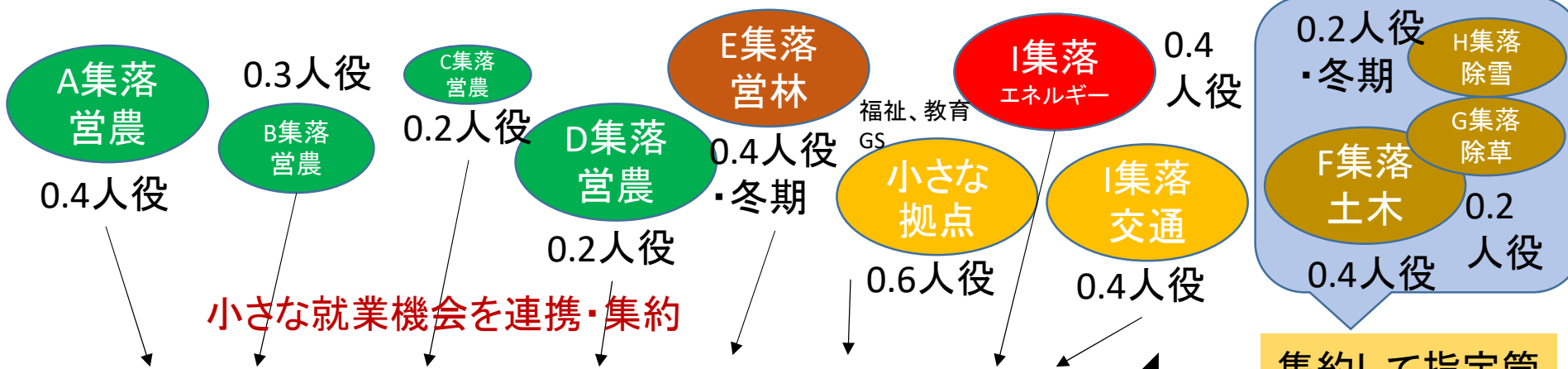


農業部門
農地集積32ha
放棄地活用
新規就農支援

定住部門
空き家活用
(修繕、賃貸)
起業支援

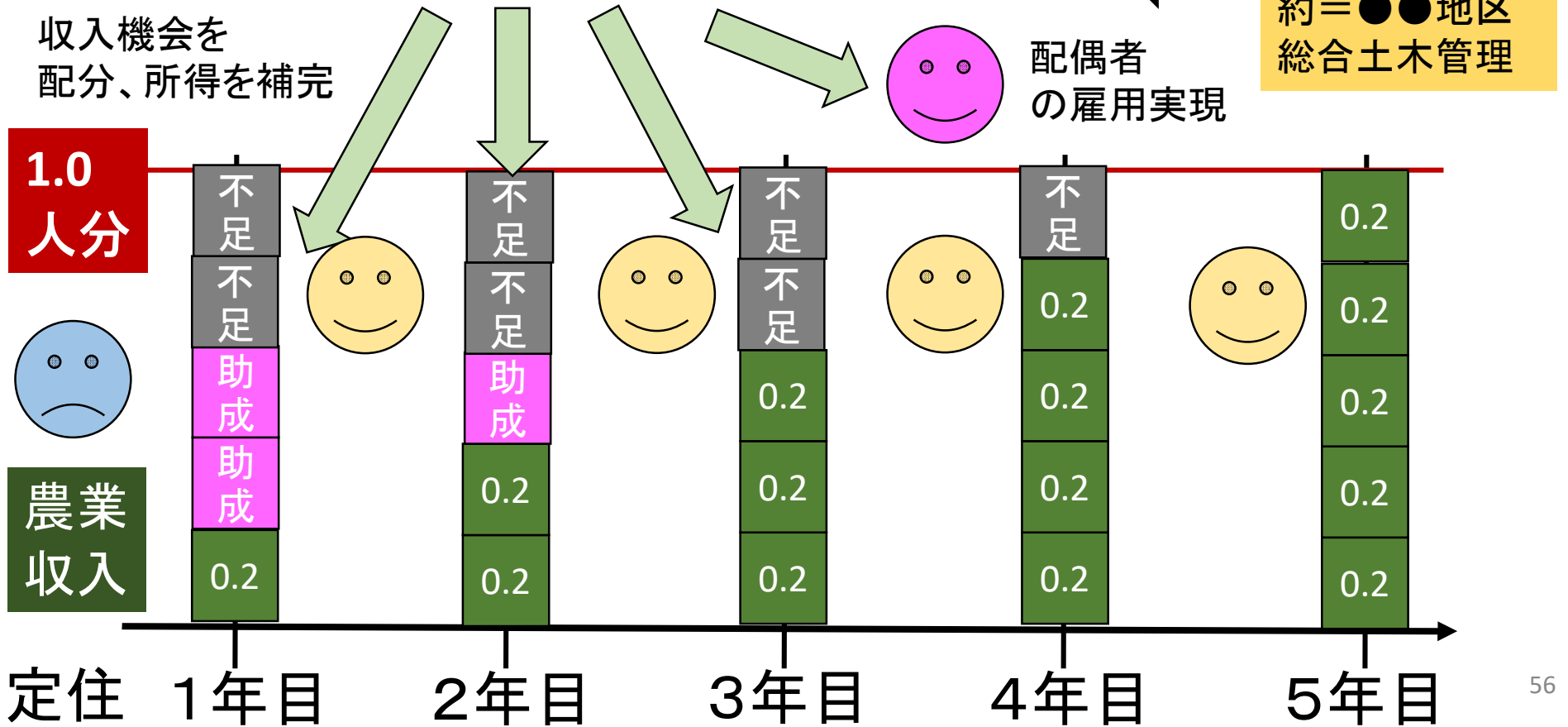


起業支援
でパン屋も
オープン



集落・分野・時期を横断する複合型の事業体(ヤマタノオロチ型) ← 一括発注

集約して指定管理 & 複数年契約 = ●●地区 総合土木管理



秋田県 お互いさまスーパー



羽後町仙道地区「仙道てんぽ」

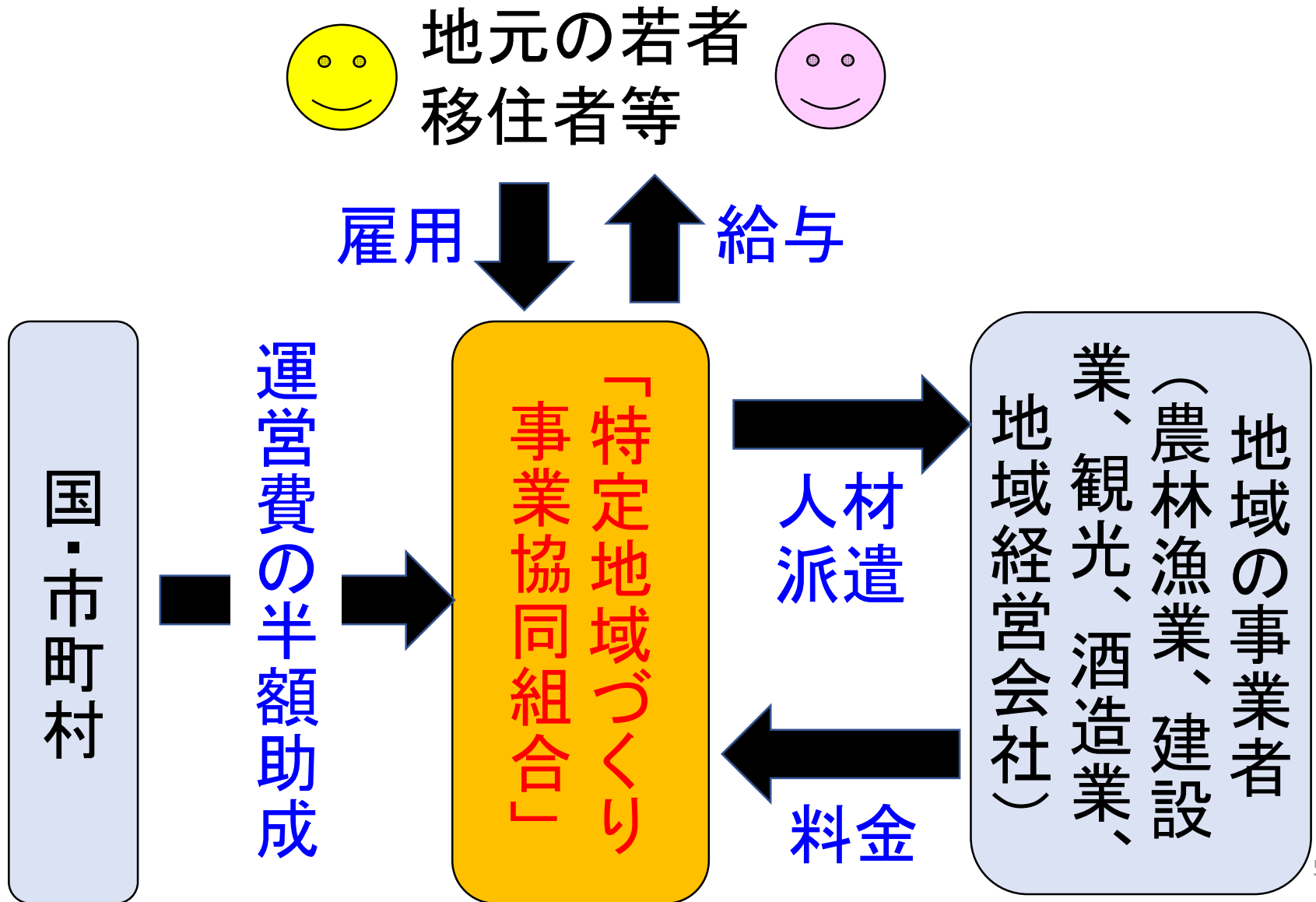


五城目町浅見内「みせっこあさみない」



過疎地域で雇用増を目指す新法が施行へ(今年6月)

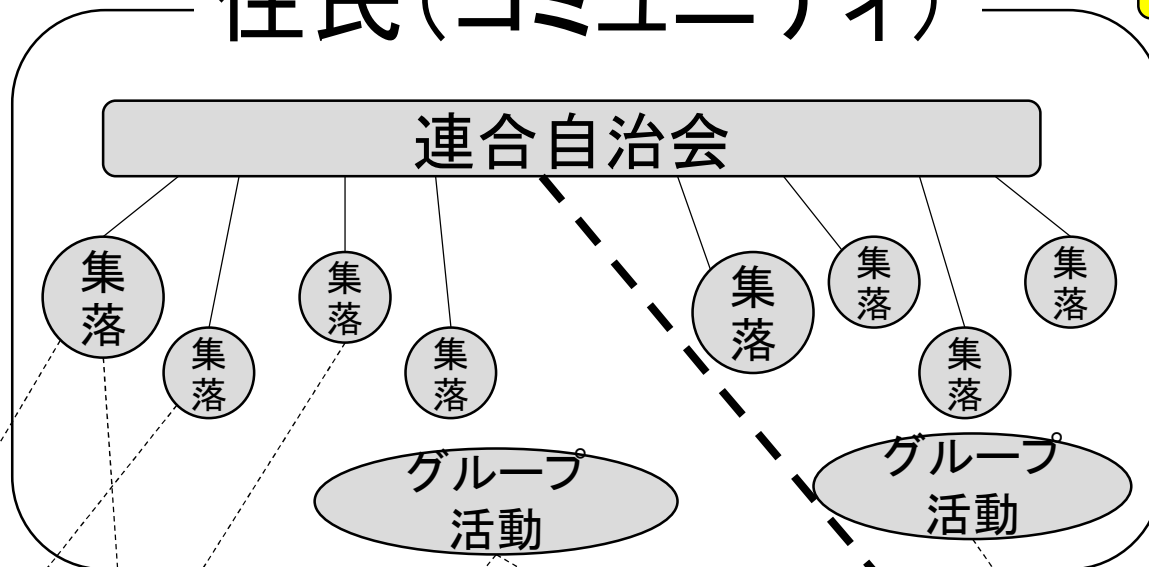
「特定地域づくり事業推進法」



従来型 地域運営 の問題点

→地域の力が結集できない！！

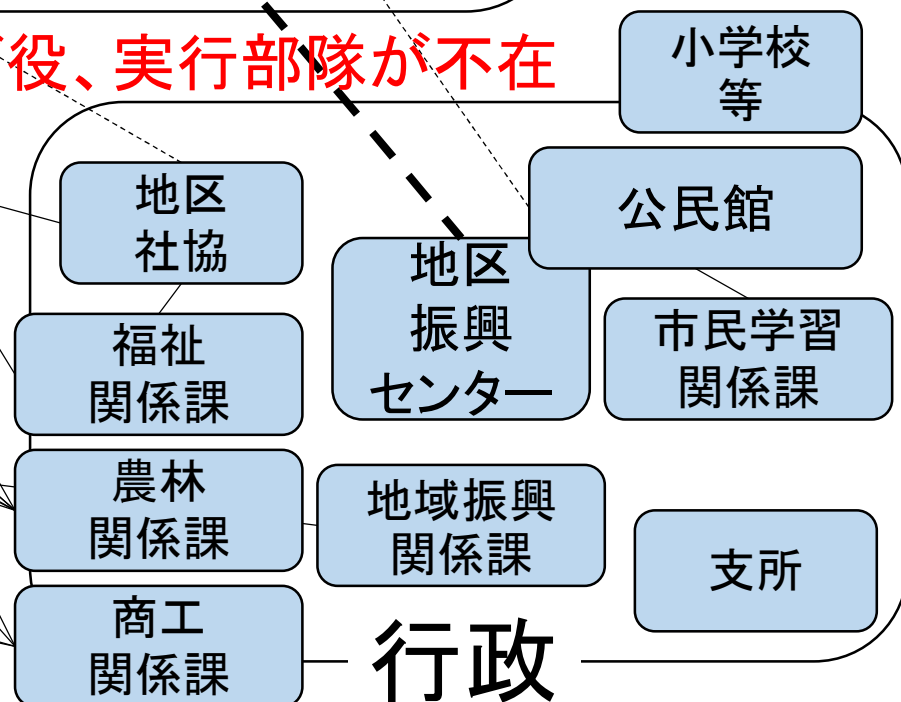
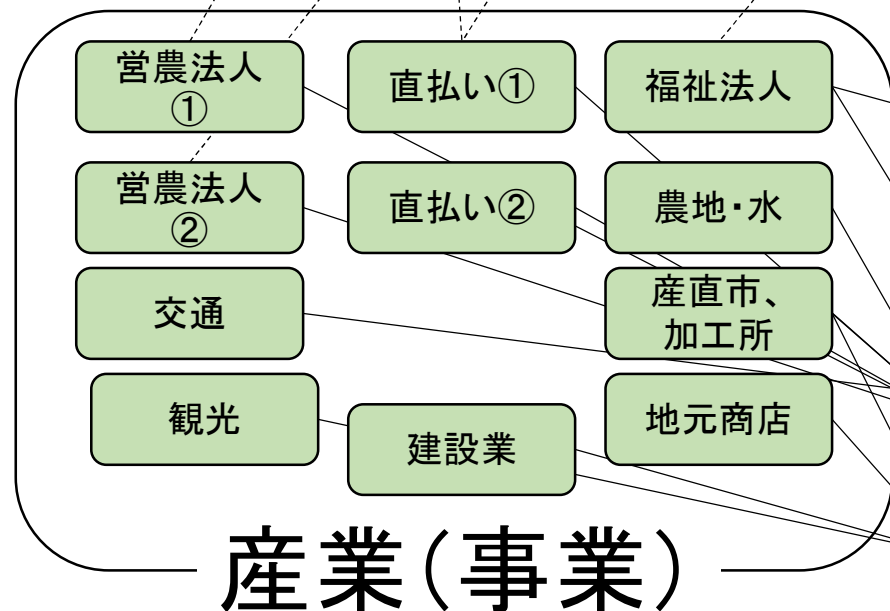
住民(コミュニティ)



ステップ②～⑥

×横並びの取り組み、年間行事等の消化

×地域全体のつなぎ役、実行部隊が不在



×事業体ごとの個別展開

×分野ごとの縦割り対応・支援

新しい 地域運営 の三角形

ステップ②～⑥

住民（コミュニティ）

<分野連携>

<地域連携>



会長等

運営委員会



事務局



*単位再編も

地域自治組織
●●地区振興協議会

地域マネージャー
事務局スタッフ
兼務

人・財源・施設の地元移行

支援チーム
体制の構築

横つなぎ
型法人

営農
組織

エネ
ルギ
ー

産直
加工

商工
関係

福祉
関係

拡大
運営委員会
(円卓会議)

公民
館

小学
校等

関係
各課

地域振興
市民学習
農林、商工、福祉

横つなぎ型法人の設立（分野横断型）
複数事業の合せ技や会計業務の集約など

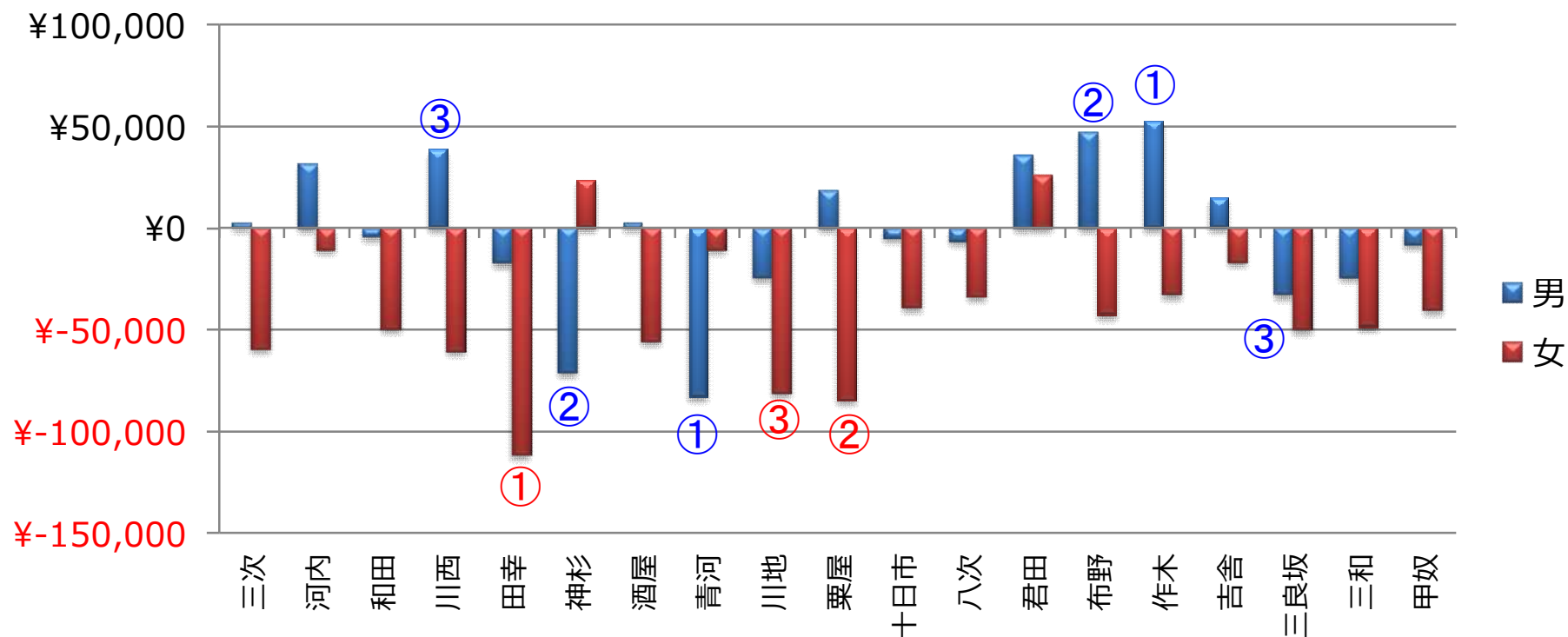
産業（事業）

地元の合意形成、取り組み支援のプロへ
●●地区支援チーム（分野横断型）
市役所職員現場配置＋地区担当制
公平性・公正さへの配慮（地区内外）

行政

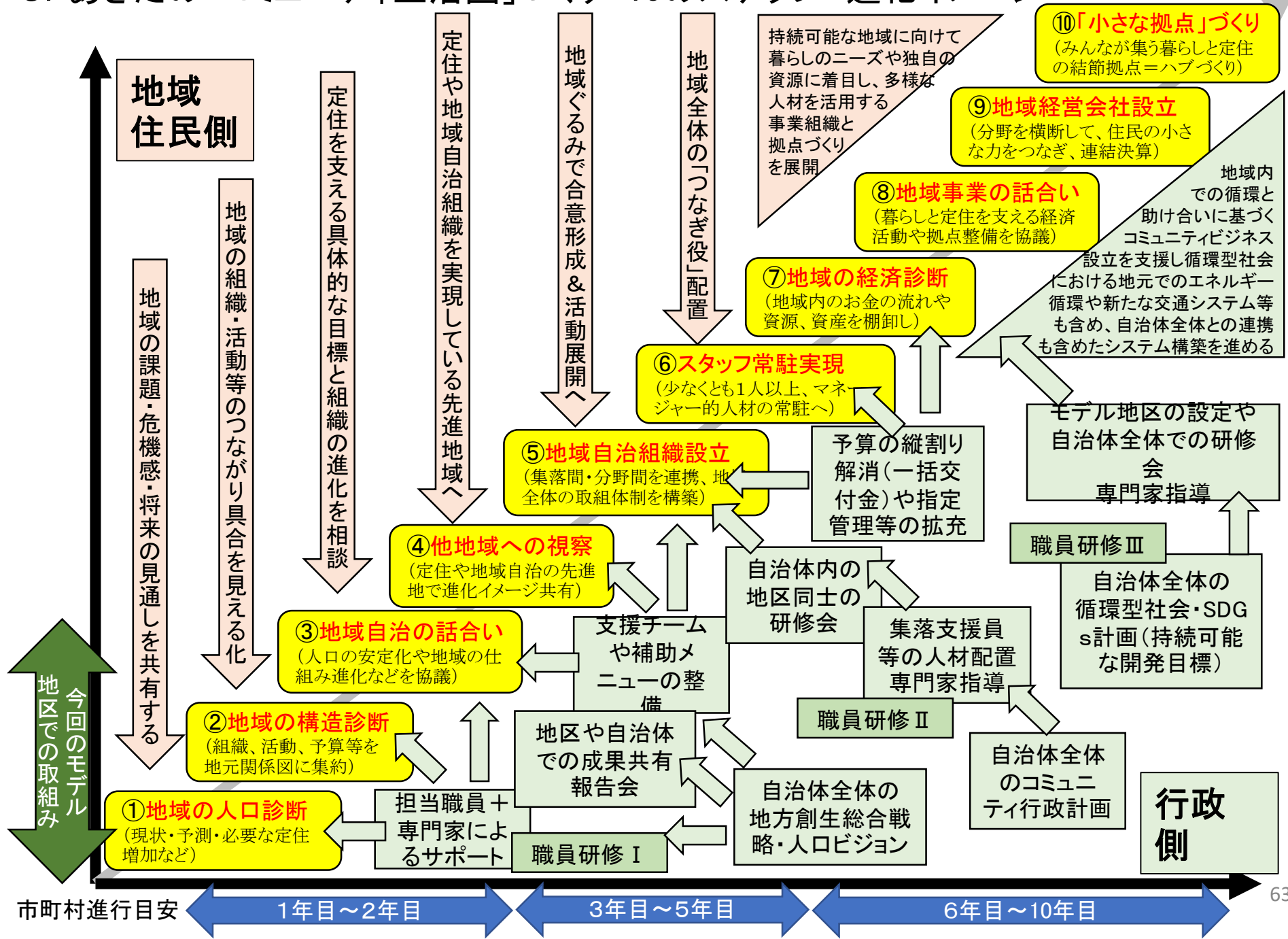
●広島県三次市・地区別の「お達者度」～全国平均の年齢階層ごとの認定者率・介護度の違い～を反映した場合の介護費用の1人当たり差額

図⑬-2 地区別 介護費用・認定者率・介護度が全国平均になった場合の介護費用の差額（被保険者1人当たり）



高齢者の出番を創る地域づくりや生涯現役型の農林業が貢献
女性部門1位の田幸地区は、女性だけで、4,000万円分を浮かす

5. あきたの「コミュニティ生活圏」づくり 10のステップ 進化イメージ



秋田県の「コミュニティ生活圏」づくりに向けた
「現場支援＋市町村・県体制づくり＋全県郷づくりリーグ」の総合連携イメージ(試案)

